

バリ
キャリア母 さんが

DQN に寝取られた VOL 3





約束？

守る？

母親の情を
平然と利用するなんて

どこまで下劣なの
こいつは……

先に約束破ったのは
アンタでしょ

ふざけんじゃ
ないわよ！

あらすじ

大手企業で管理職を務める斎藤由香里は
順調にキャリアアップを重ねていた

家に帰れば優しくも誠実な夫と息子の陽太が迎えてくれる
幸せな日々

そんなある日、
彼女の前に陽太の同級生、灰田が現れる

灰田は陽太の不始末をネタに由香里を脅し、性処理を
強要する

由香里はそんな灰田に嫌悪しながらも息子を守るため
体の関係を重ねていくが……

きちやうからあッ！

きちやう

だめえええ

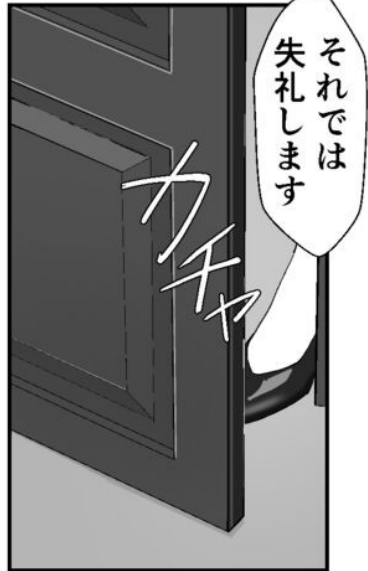
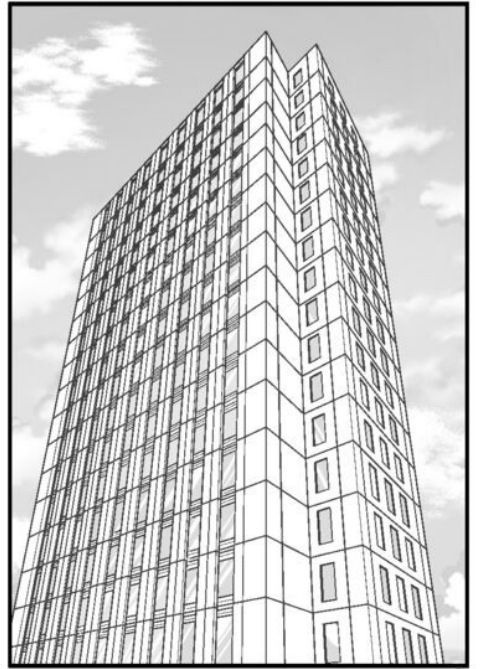
おねえ
付けてる！

いっ……ん

もういやッ
……いやあ……

つぐううう

カッ

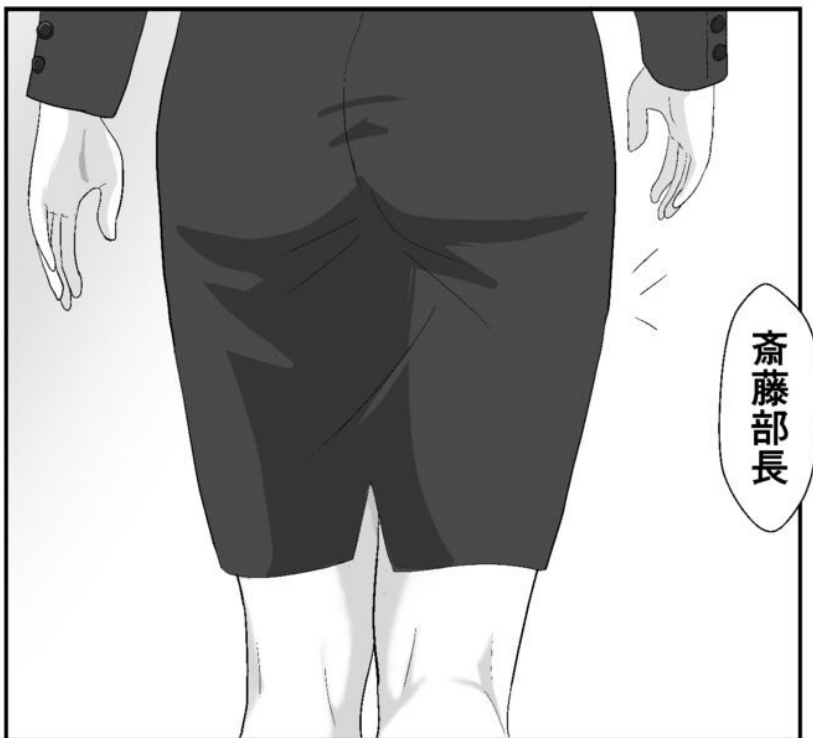


それでは
失礼します



やあ
お疲れ様

これは…
武田専務



斎藤部長

頑張っている
ようだね

さきほど
君の提案した
『女性スタッフ向けの
キャリア
デザイン制度』
の創設案は
素晴らしいかったよ

恐れ入ります

あの
頭の固い
役員連中を
納得させるとは
実に見事だ

今後ますます
海外展開を
加速させる
我が社にとって
優秀な女性スタッフの
育成は急務だ

むろん
相応の地位で
迎える必要がある

君のようにね

斎藤部長には
そのロールモデル
として存分に実力を
発揮して欲しい

過分な
お言葉をいただき
恐縮です

皆の規範となるよう
精進してまいりますわ

ほう
気負いは
ないようだね
まさに泰然自若だな

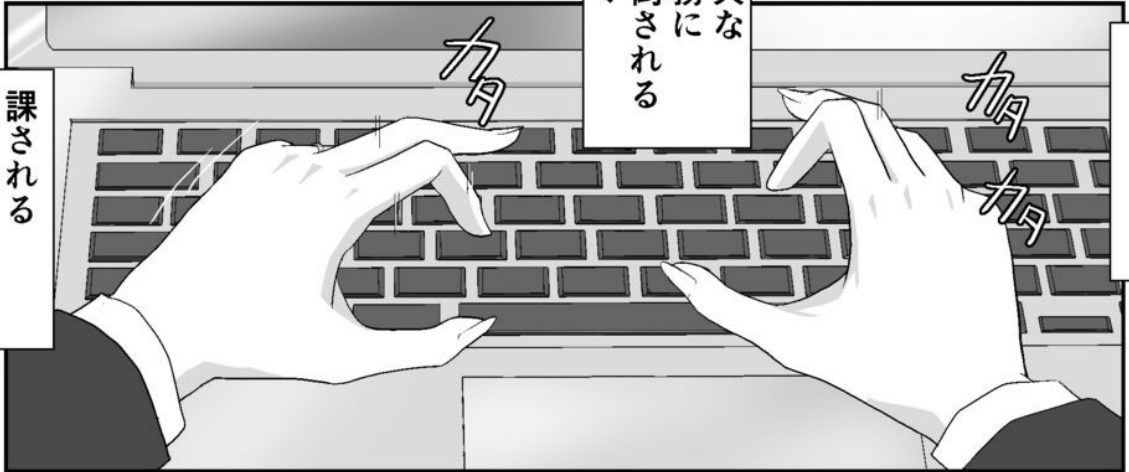
期待しているよ

それじゃ

昇進してから
ひと月が経った

膨大な
業務に
圧倒される
日々

課される
責任も仕事量も
これまでとは
比べもの
にならない



とはいえ
今の私にとって
この環境は
救いでもあった

仕事に
忙殺されている間は

思い出さずに
済むのだから



忌まわしい
記憶を...



!?





ちよッ!?



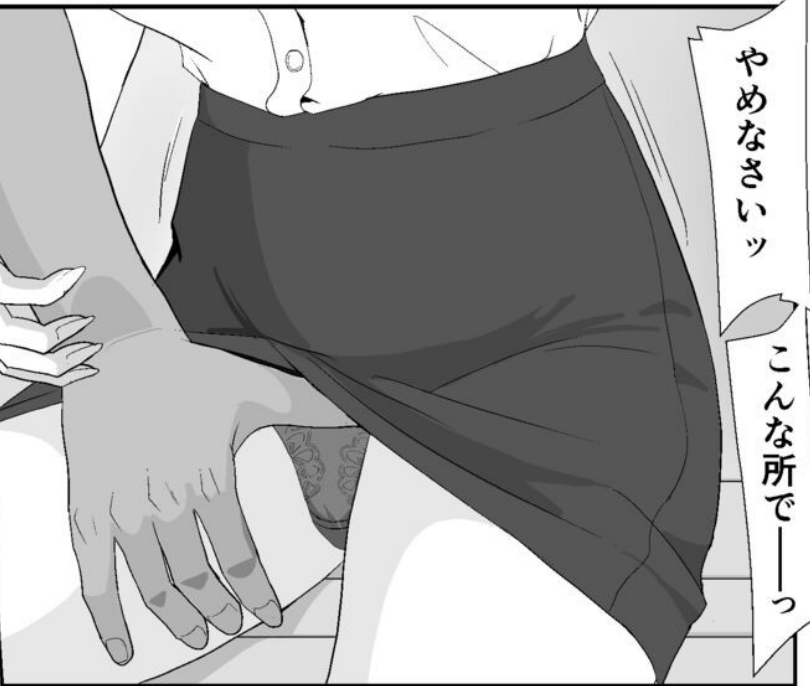
へへ
本当に来るとは
思わなかったぜ

ふざけんじゃないわよ!
断ったら
家に押しかけるって
脅しといて



ごんな所だから
いいんだろ

周りを
見てみ



やめなさいッ

ごんな所で——っ



誰も
他人の事
なんか
気にしちゃ
いねえって

つく



ほら

そんなの
関係ないわよ！

やめて

つれねえな
この間はさんざん
イかせてやったる

いやッ！

あれだけ
エロいとこ
見せといて
今更だろ

それともあれか
まだ俺に
『脅されてる』って
言い訳が
欲しいのか？

っ!?

言い訳……？
何を言ってる……

まったく
面倒臭え
なあ

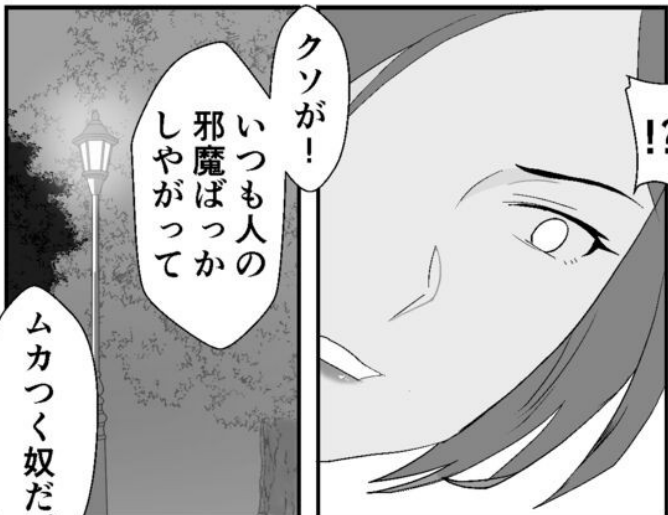
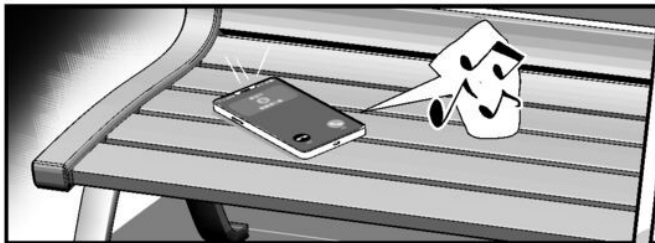
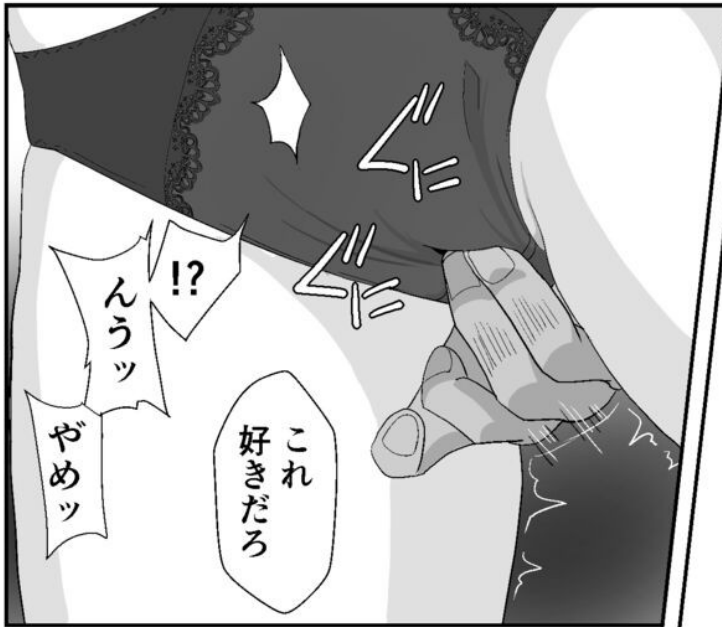
これだから
体面を気にする
大人ってやつは……

わかったわかった
『逆らうんじゃねえ
お前の息子が
どうなっても
いいのか？』
ほら、
これでいいんだろ？

こいつ……ッ

さっさと
私の前から
消えて！

人を侮辱するにも
ほどがあるわよ





聞こえてる？

ンツぐ!?

ほら手が止まってんぞ



ごほっ

…聞こえてるわよ



うーん 電波悪いのかな…

殺してやりたい

なんか声が遠いし



こんな姿 もしあの子に 知られたら…

すけや すけや



陽太くーん 元氣〜

ちょッ!?

やめてッ!

お前の母ちゃん 公園で痴女ってるぜ

ふざけないで!

あれ?

そばに 誰がいるの?

熟女おっぱい 柔らかいけど もうちょい 乳圧が欲しいな

このッ 黙ってなさい!



母さん……?

よ、酔っ払いよ

え?

近くにいた
酔っ払いが
絡んできたの
ほんと迷惑だわ

おほッ!?

キレイながら
乳首めっちゃ
立ってきた!?

エロッ

っ!?

おー怖っ

マジ切れ
されちゃ
った(笑)

悪い悪い
そんなに
動揺するとは
思わなくてさ

——ふざけんじゃないわよ
クソガキ

もう意地悪
しないから
早く抜いてくれよ

早くしないと
退屈してまた
喋っちゃう
かもよ

もっと
大きな声で

酔っ払い……?

それって
大丈夫なの?

母さん
今どこ?

俺心配だし
迎えに行くよ



でもさ
最近物騒だし

おかしな奴
多いでしょ

万が一があっちゃ
いけないから...



あッ...ありがとう

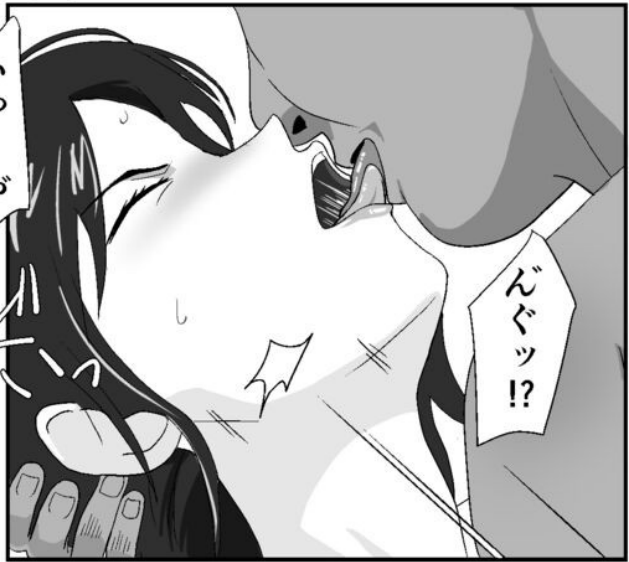
っ
っ
っ
っ
っ

でも...大丈夫だからッ

もうどこかに
行っちゃった
みたいだし

にゅ
にゅ

にゅ
にゅ



いっ...や

んぐッ!!

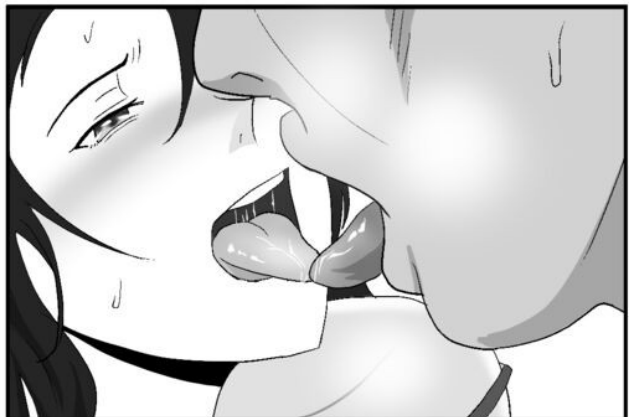


へッ

良い子
ぶってんじや
ねえ

やめなさい!
あの子を
悪く言うのは

アンタ
みたいな
クズが



ホッ
へえ、意外だな

怒っても、クズに
舌突っ込まれたら
ちゃんと
絡めるんだ

おーい
聞こえてる？

スケベに
なったよな
お婆さん

いい加減なこと
言ってるじゃーッ

大声出すなって
気づかれるぞ

ふざけてる
何がスケベよ！

ああ
もうちょい
強く

ガキが
調子に乗るな……!!

母さんってば！

……陽太

こっちは
本当に
大丈夫
だから

そっか
わかったよ

……っ

先っぽ舐めしやぶれ

それじゃさ何かあった時は――

あなた…陽太…ごめんなさい

遠慮しないですぐ連絡してよ

こんなはしたない真似をする私を許して…

ぴゅん

ぴゅん



はっ

はっ

はっ

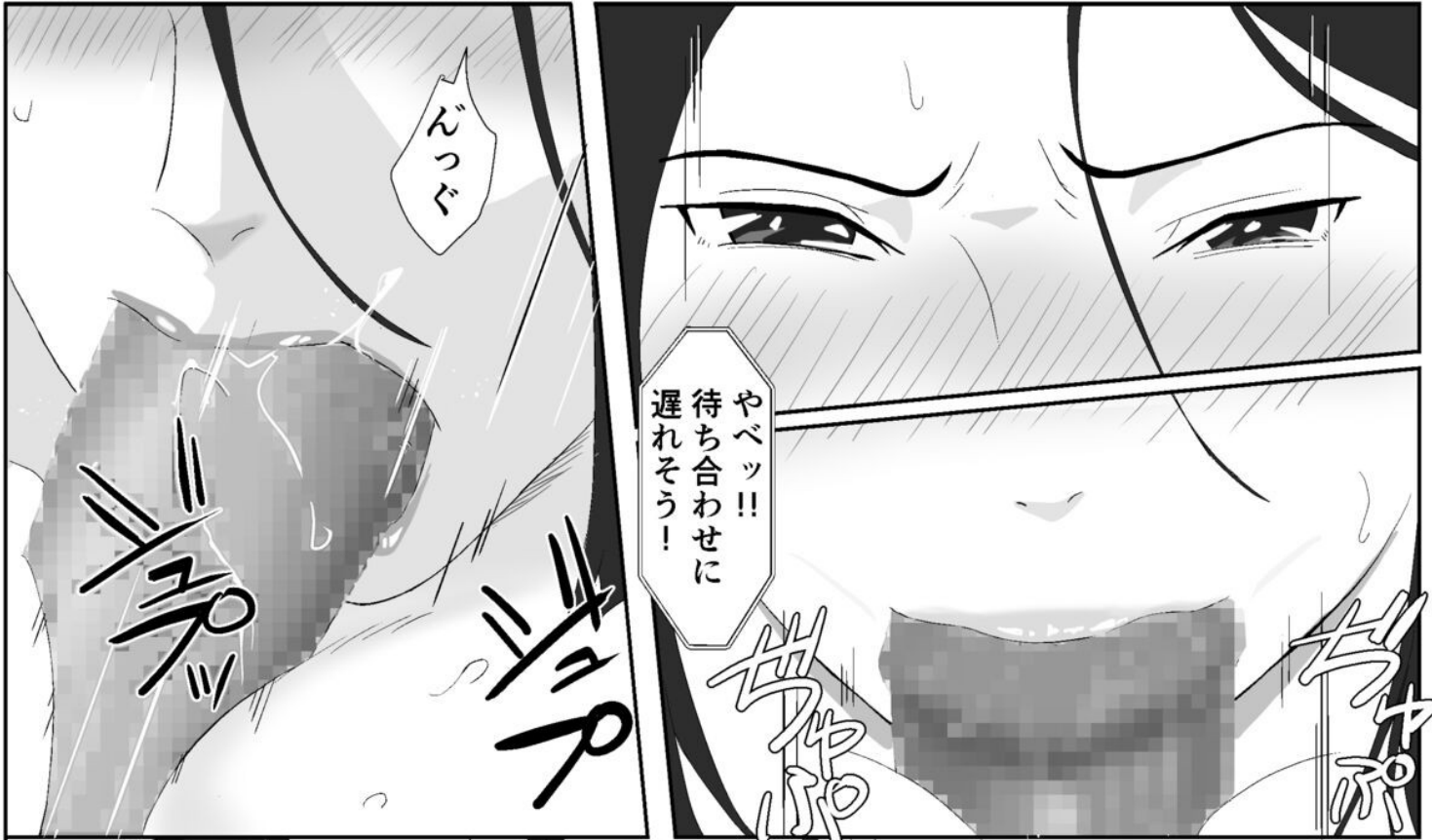
あ…ありがとうございます

その時は…頼りにさせてもらっから



任せてよ









もういいでしょ
この恥知らず

二度と
こんな所に
呼ばないで



ふん



まあ
そう怖い顔
すんなって

触らないで



ちよっ!?

機嫌直せって

おばさんも
気持ち良く
してやっから

やめなごらッ



痛ったあ

何すんのよ!



ちよっと濡れてんじゃない



…ん？



いやッ！



いい加減な事言ってるじゃー



うわーさりげなく濡れてるのがエロっ

いっ



んんッ！！

クチャ

動くんじゃないぞ



待ってッ



でたらめ
言わないで!!

誰がよッ

早ッ
もうイキそうに
なってんじゃん

ヌ
ヌ

ブル
ブル



ひっ...

あッあッ

レロ
レロ



そういうの
いいから
早くしろ

いやッ...

おばさん
舐めにくいわ
尻上げて

っは...

なんだ
俺の勘違いか

くッ...

ヌ
ヌ



にゃ
にゃ
にゃ
にゃ
にゃ

あくっ...ふ

んん...あ

か
か

奥まで
舐めて
やつから

ふッッ
ぐっ...

そうそう
やれば
できんじゃ
ねえか



言い知れぬ不安は
常に胸の内
くすぶり続け

それは灰田が
私の前に現れるたび
ますます
大きくなっていった





いやー
奥さん
うれしいこと
言ってくれるねえ

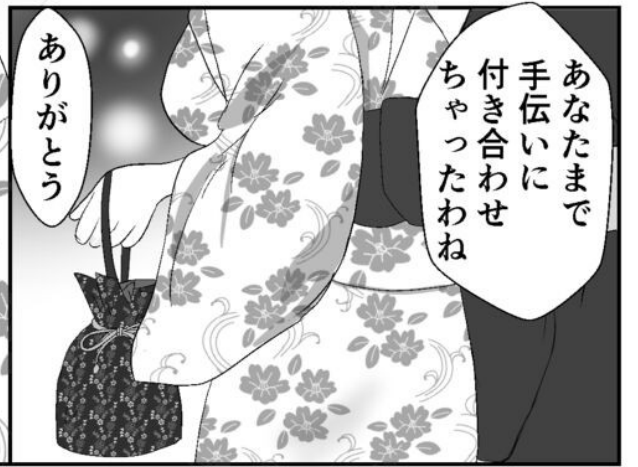
ああ、そうだ！

あとはこっちで
やっつくからさ
夫婦水入らずで
祭り楽しんでよ



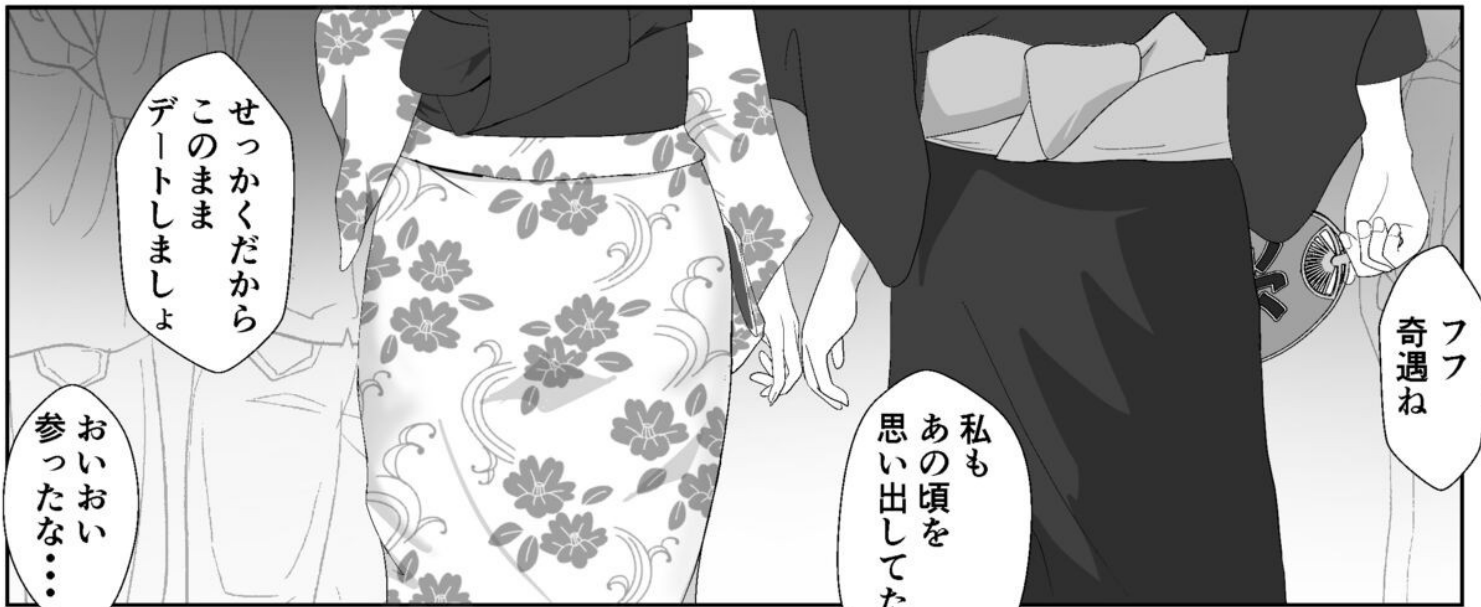
楽しかったよ

君とこういう
イベントに
参加したのは
新婚以来かな



あなたまで
手伝いに
付き合わせ
ちゃったわね

ありがとう

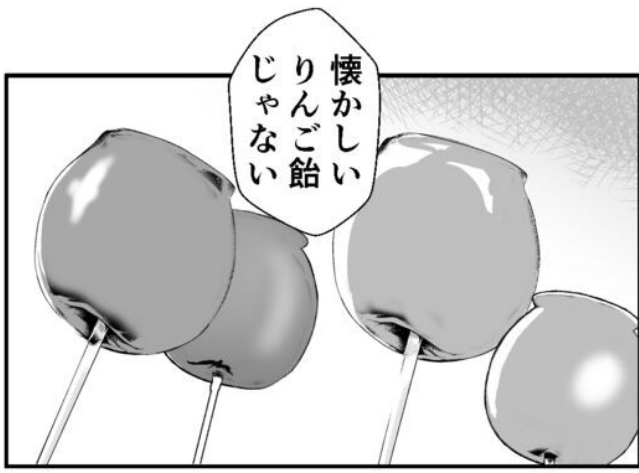


フフ
奇遇ね

私も
あの頃を
思い出したの

せっかくだから
このまま
デートしましょ

おいおい
参ったな…



懐かしい
りんご飴
じゃない



あらっ—

えっ！
僕の
せいなのか！？

あなたの
せいで
こっちまで
ちよっと恥ずかしく
なっただしょ

なに本気で
照れてんのよ…



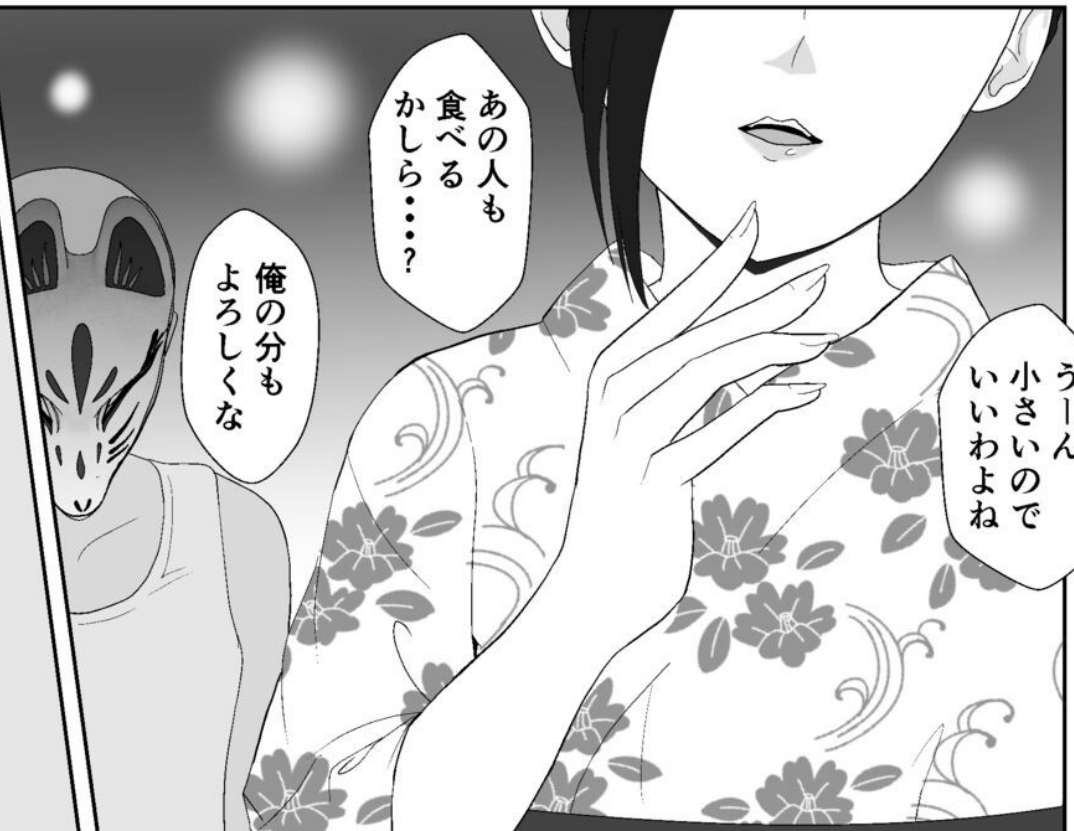
ちよっと
待ってて

買っちゃおう

あおい
由香里



—ッ!?

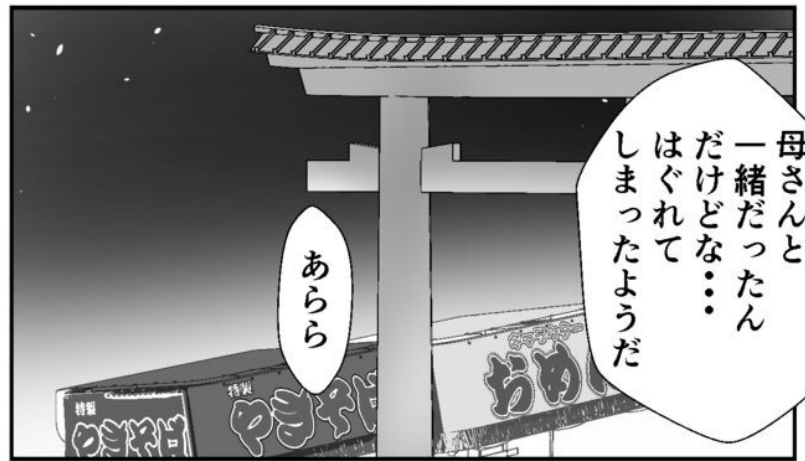


あの人も
食べる
かしら…?!

俺の分も
よろしくな

うーん
小さいので
いいわよね

なん…で？



陽太か...

父さんも来てたんだ

誰?

あれ?

父さん

陽太の
お母さん

母さんと一緒だったんだけどな...はぐれてしまったようだ

あらら

ダメえツ

あぁッ

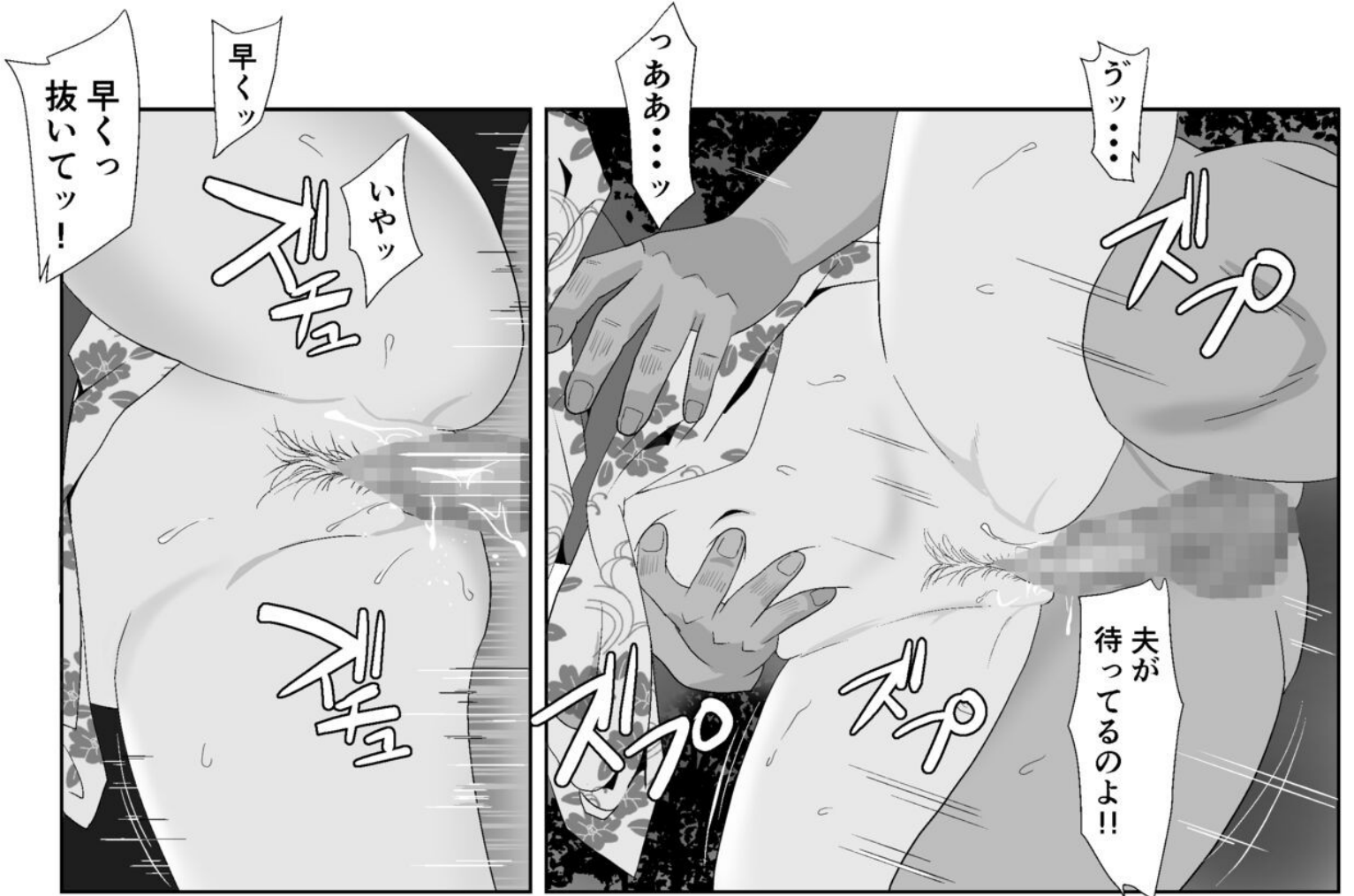
聞いているの!

っづ

待っ...て

夫がッ...早く戻らないとっ

ハッ





俺ら絶対
相性良いよな



はッ

もう
いきそう
なんだろう

はッ...あ

早過ぎねえか
おばさん



...馬鹿じゃないの



思い込みも
そこまでくると
哀れね

気持ち悪い
クソガキ

さっさと
帰して



はは
まだやせ我慢
すんだ?

んッ!?

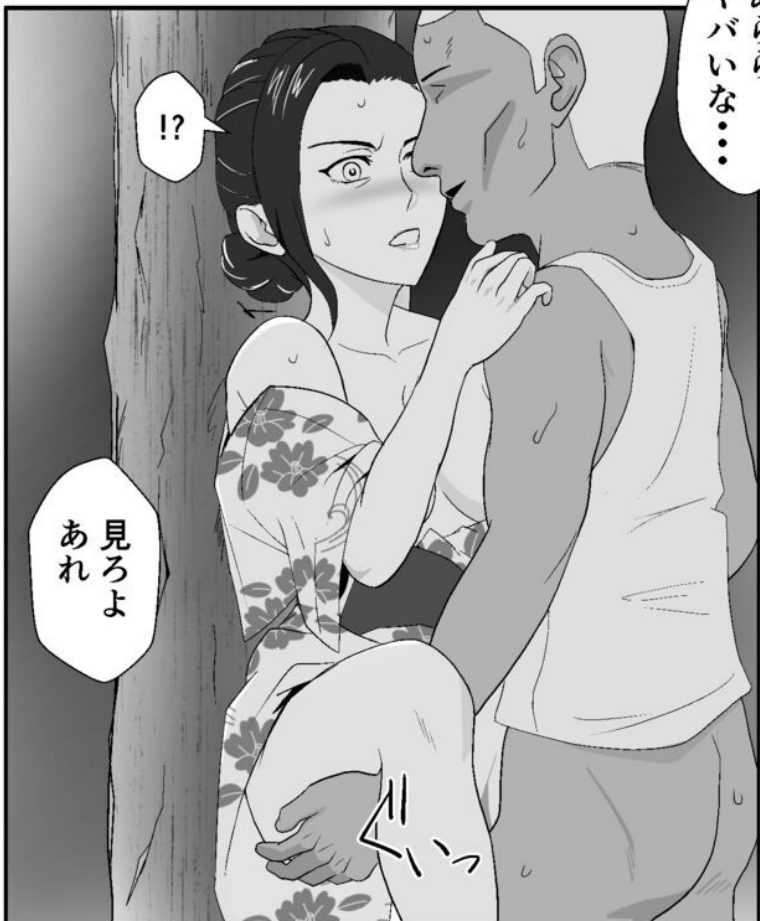
ぬぽっ

年増の
プライドって
やつ?



おーい
由香里

っ…!?



あらら
ヤバいな…

!?

見ろよ
あれ



こっちに
近づいてるぜ

嘘…

そんな…

このままだと
見つかるかも



だあ…めッ!?

今はダメッ

ツん



早く
済ませようぜ

ッっ!?

待ちなさいッ



おほッ
いつもより
キツッ

あぁっ

だっ…め…

待ってッ

抜いッ…て

なんだよ
俺はおばさんの
浮気がバレない
ように早く
終わらせようと
してんのによ

んっ

ふざけっ…
ないでッ

静かにしてれば
バレねえって

いっ…
ああ

深ッ

それにさ
俺に
突っ込まれても
なんとも
ないんだろ？

あっ…!!

だったらさ

やめッ

大人しく
してろって

はあっはっ
どうした？
声出てんぞ

旦那にバレるぜ

はっ…ぐう

ぶづうッ

っ…あ

…認めちまえよ

俺とやると
良過ぎて声我慢
できねえって

うぬぬッ

ぐッ

んづっ…

うぬぬのよッ

ほら
もうわかって
んだろ？
自分が何を
すりゃいいか



そんな訳ない！

ありえない！



つたく
素直じゃねえな

まあいいや

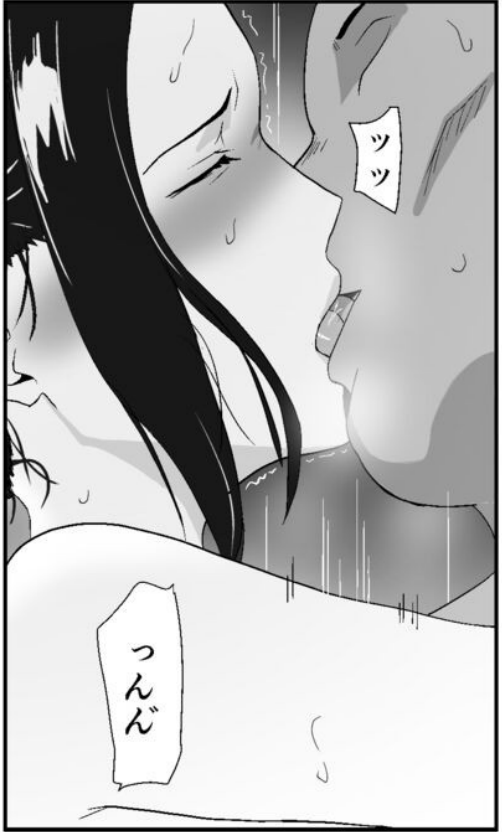
早く俺を
イかせないと
旦那が
来ちゃうぞ



このクズ……



地獄を堕ちる……



っんん



ヒキッ
ヒキッ

遠く聞こえる
まつりばやし
祭囃子の中で

由香里—
どこだ

夫の音が
鮮明に聞こえる

罪悪感

焦燥感

胸が押し
潰されそうな
不安の中で

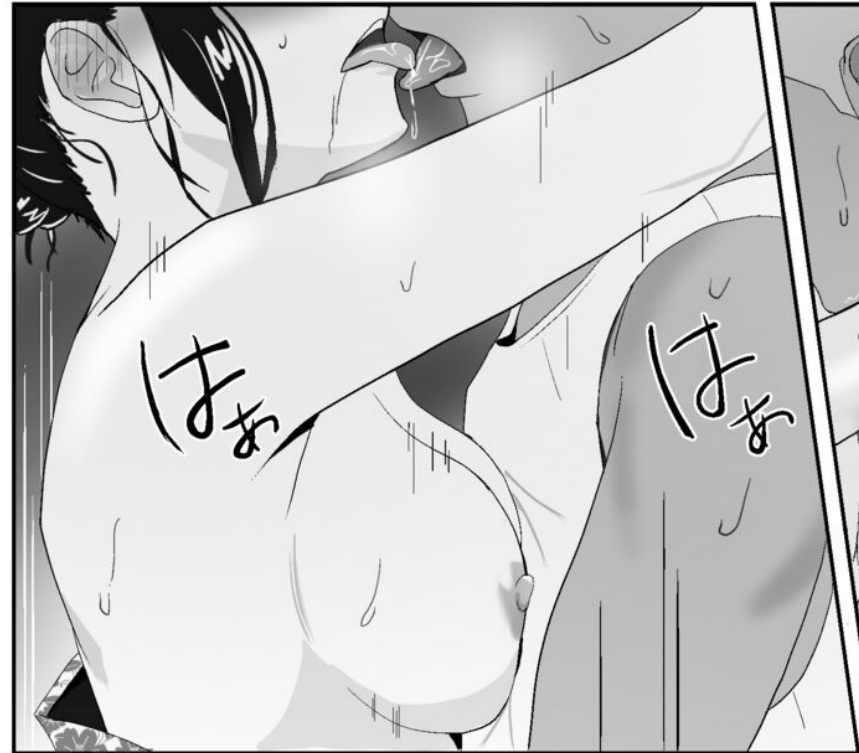
むせ返る
夏の暑さが
思考を
奪っていく

どこにいるんだ
由香里!

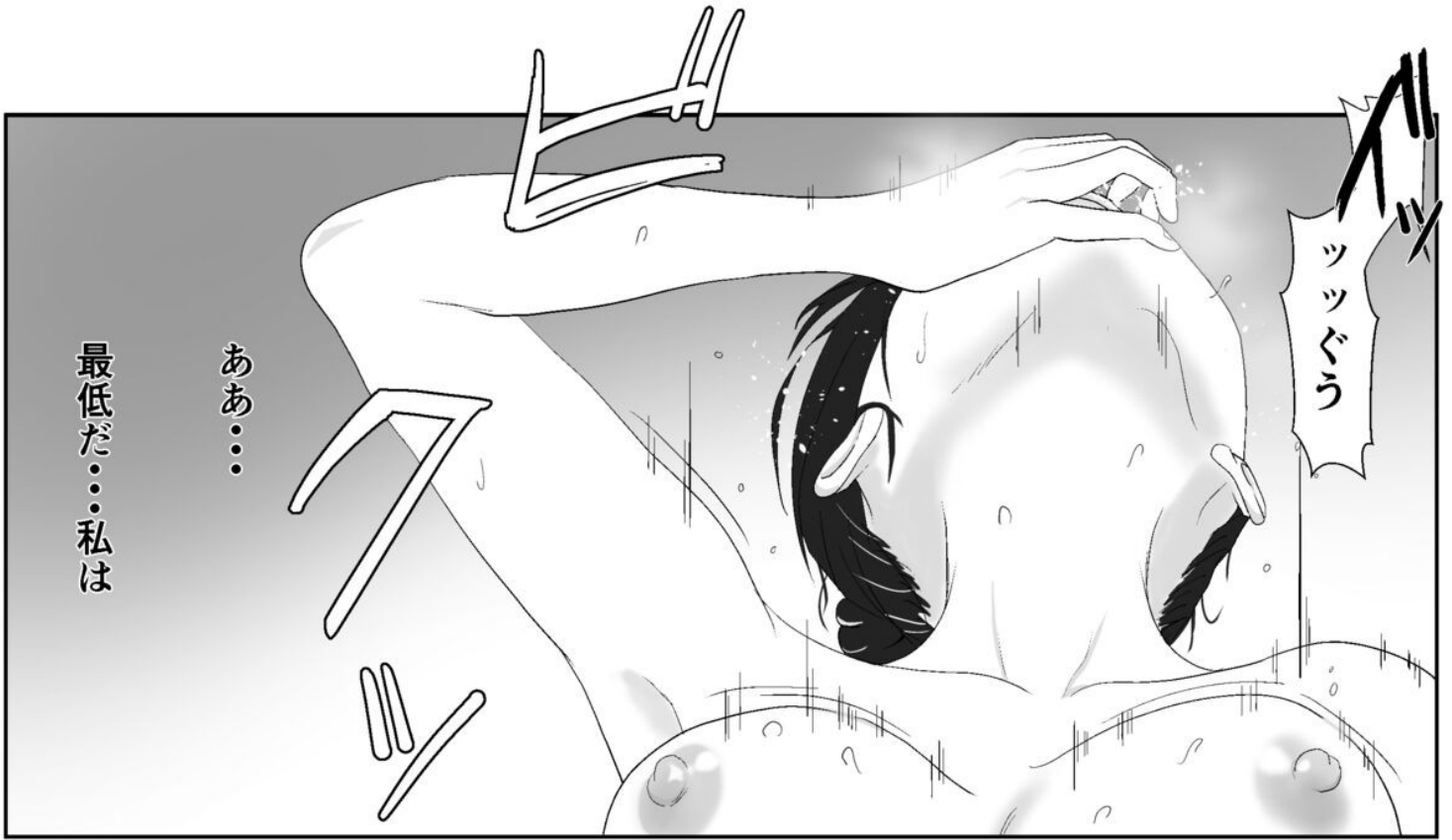
次第に近づく
夫の気配

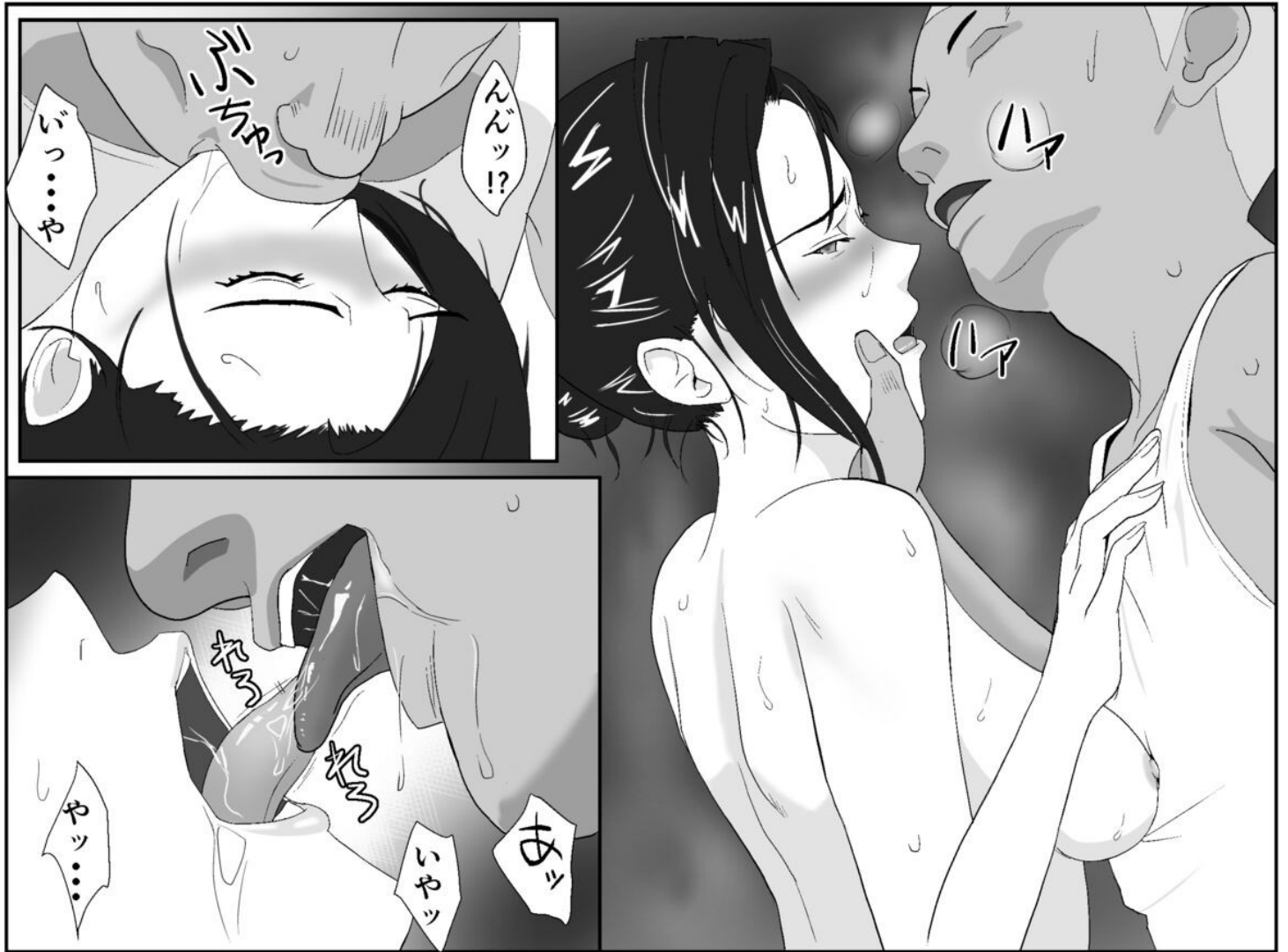
おっほ
滅茶焦ってる!?

必死に
腰振って
エロって









おばさんが
悪いんだぜ



あんたさ
スイッチ入ると
マンコ
うねらせて
吸いついて
くんじゃん



今日は特に
キてたよな



旦那を意識して
興奮しちゃったか？

悪い人妻だな



二度と顔を
見せないで……

あつ
おい待てよ



どうして
あの男をもっと
罵倒して
やらなかったのか…

由香里！

どこに
行ってたんだ！
心配したんだぞ

…ごめんなさい

情けない

少し気分が
悪くて…
社務所で
休ませて
もらってたの

お、おい
大丈夫なのか？

後ろめたさで
夫の顔を
まともに見れない

もう大丈夫よ
でも少し疲れた
みたい

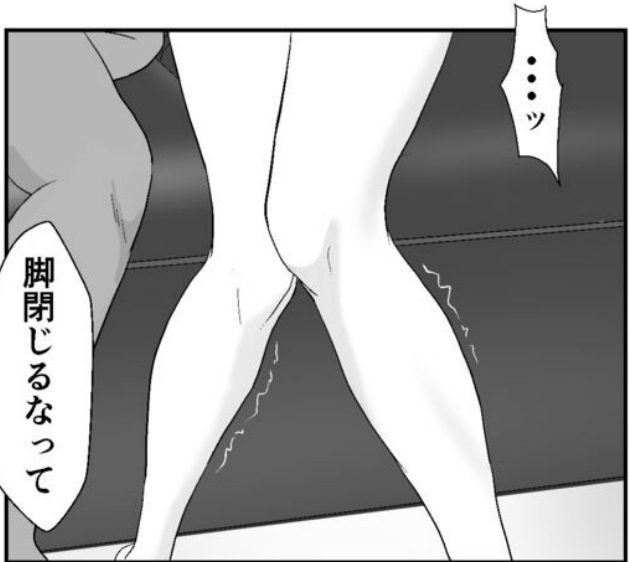
帰って
休みたいわ

そ、そうか…
そうだな
そうしよう

誠実でいつも私を
気づかってくれる
あなたを
愛しているのに

ごめんなさい

あんなクズに
いいようにされて…



脚閉じるなって

……ッ



それから灰田は頻繁に私を呼び出し弄んだ

まるで私の心にできた隙を見透かしたかのように……



ったく

撫でてるだけなのに感じすぎだろ



だ、誰がよッ

ほら自分ばっか気持ち良くなってるねえでしっかり扱



違うって言うてるでしょ!



ああっ

嘘だろ!? もうイったのかよ





そのまま
ケツ上げてろ

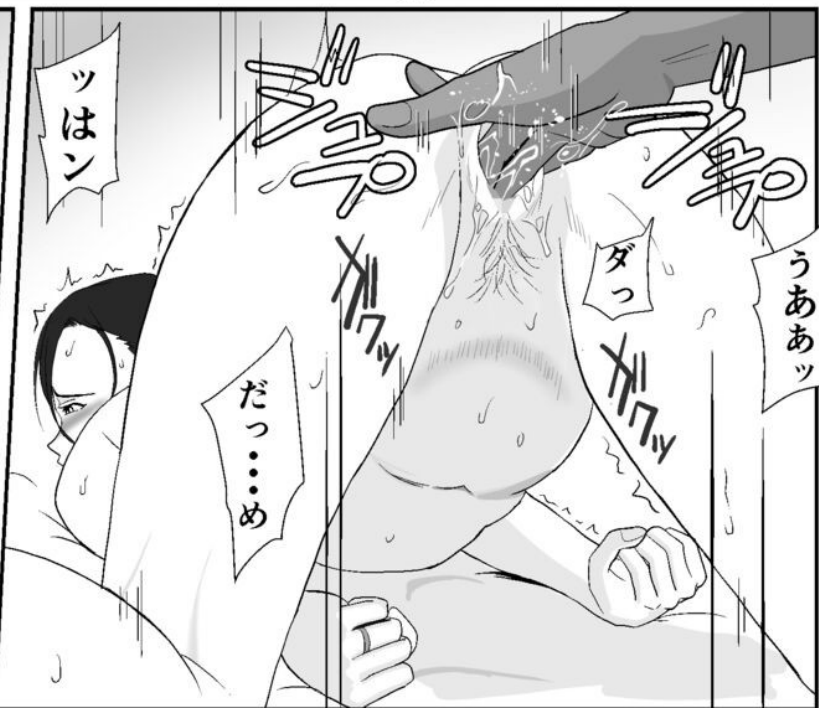


まだ
終わらせ
ねえからな！

次にイク時は
エロい声で
イけよ



そこっ
ダメ……え



うああッ

だっ……め



あー
マジで
チンコに
くるわ
このマンコ

嫌々言いながら
グニョグニョ
絡みついてくるし

嫌あッ

私は
何がしたい
んだろう……

こんなひどい姿を息子の同級生に散々晒して...

ふッ
ぐろろッッッッ



どれだけ意地を張っても



マジでおばさん家に行かせてくれよ



...ッは

っあ

なあ いいだろ？ そろそろ俺ん家も飽きたし

いまさら守らなきゃいけないプライドなんて...あるの？

コイツはどこまでも私につきまとい弄ぶ



だめえッッ

いやッ

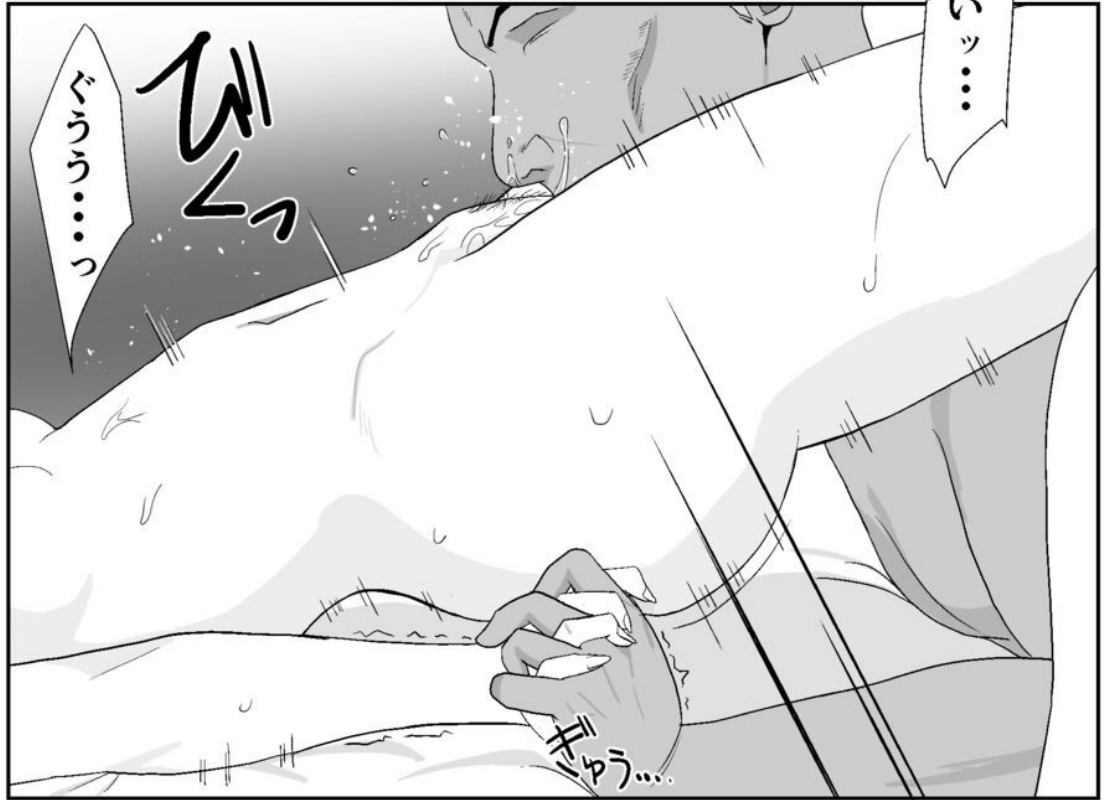
やッ

あッ!!

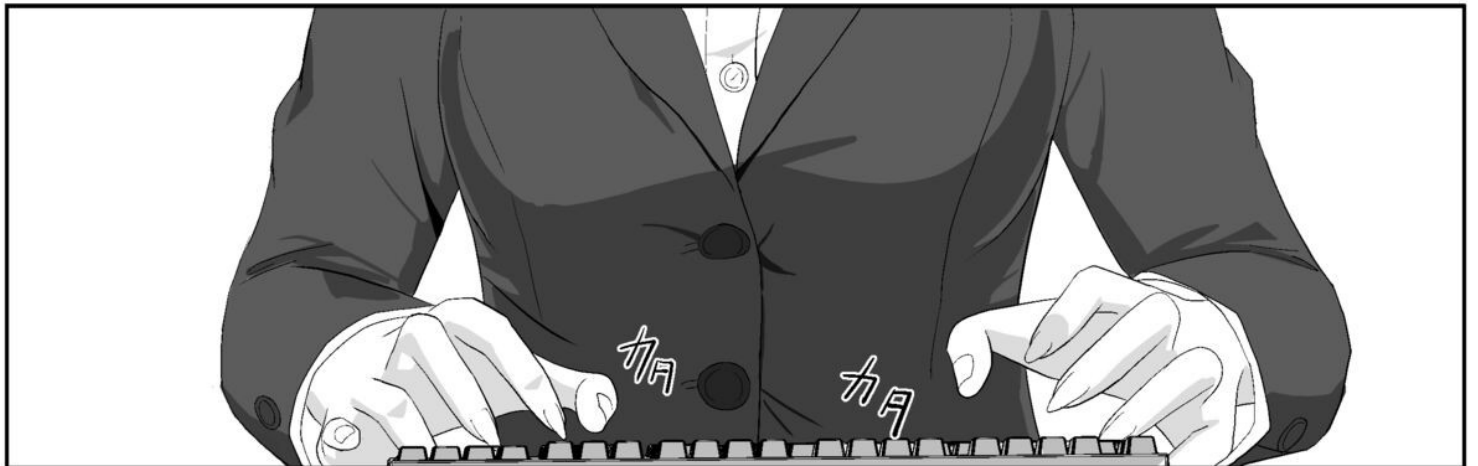
ぐろろッッッッ

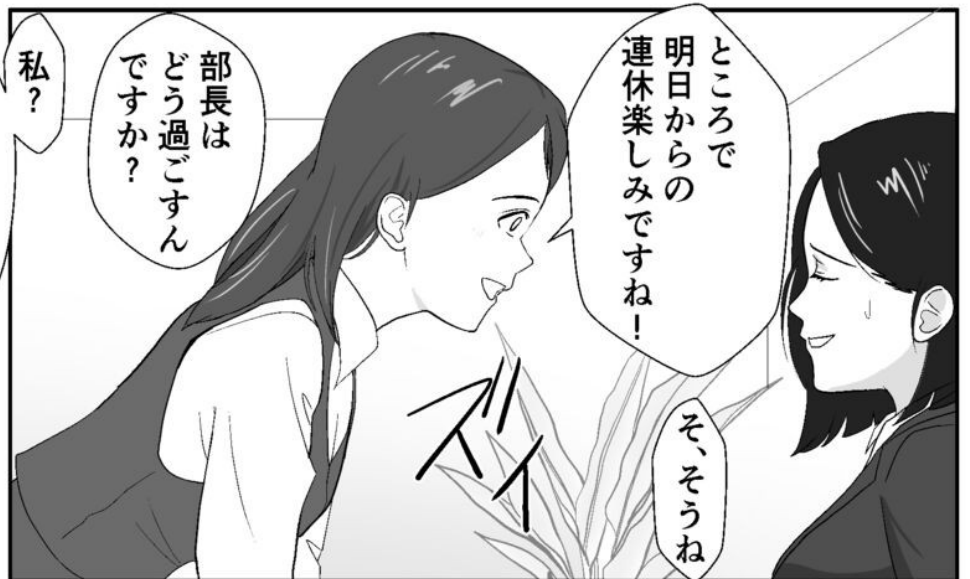


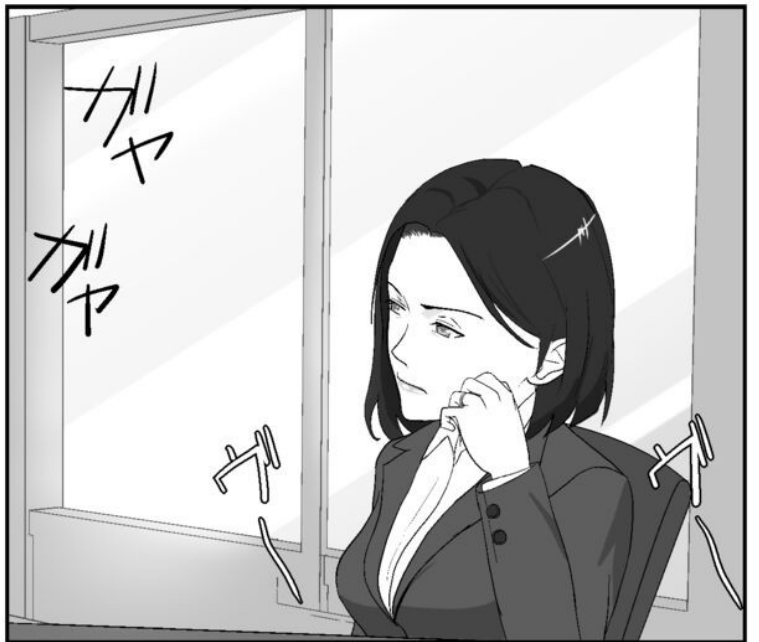
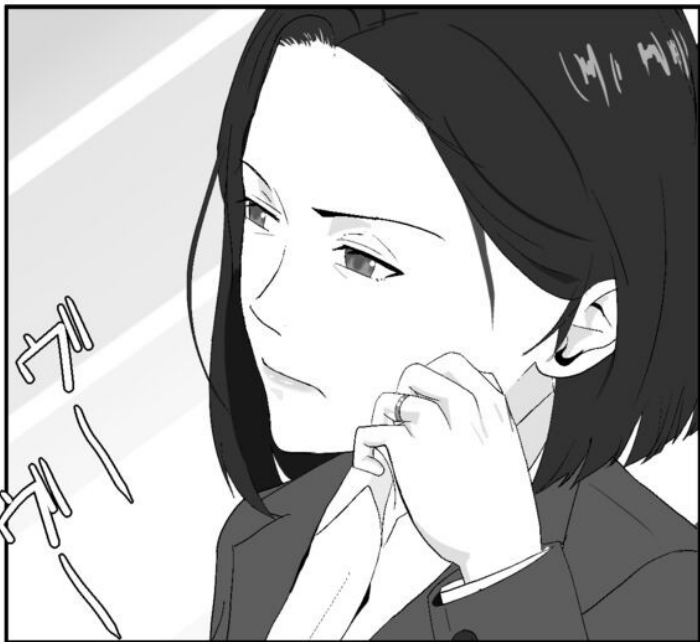
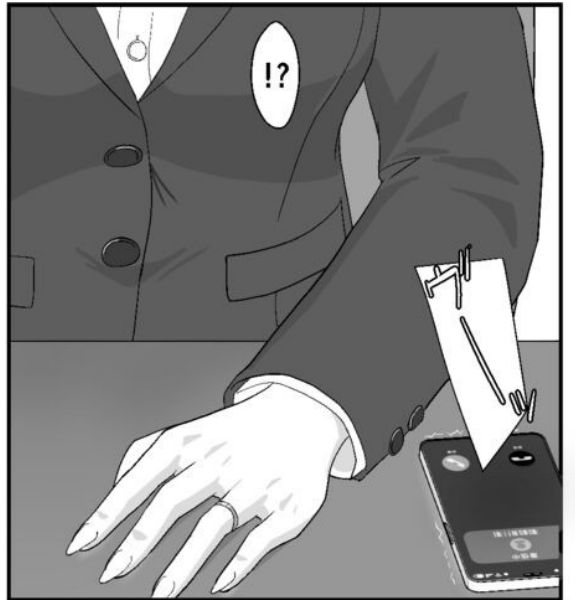
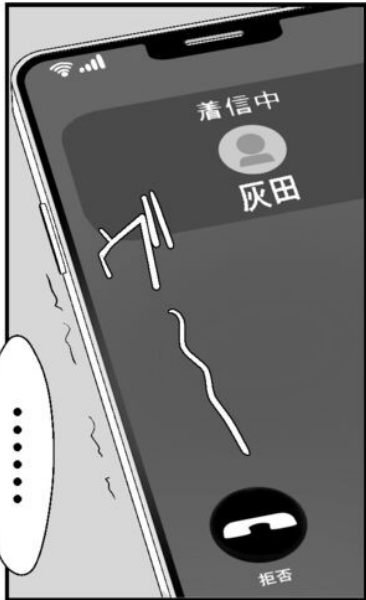
私は...



どうすれば...







…はい
何か用？

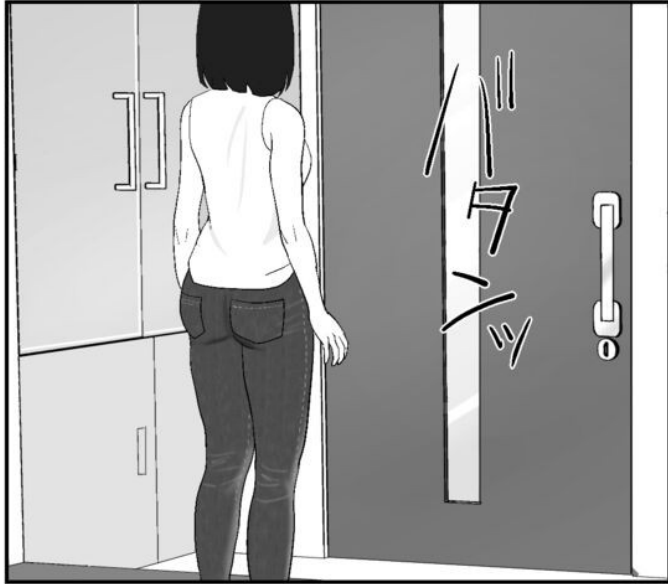


それじゃあ
母さん
俺たち先に
行ってるからね

ええ
私も仕事の
残務処理を
済ませたら
すぐ追いつくから

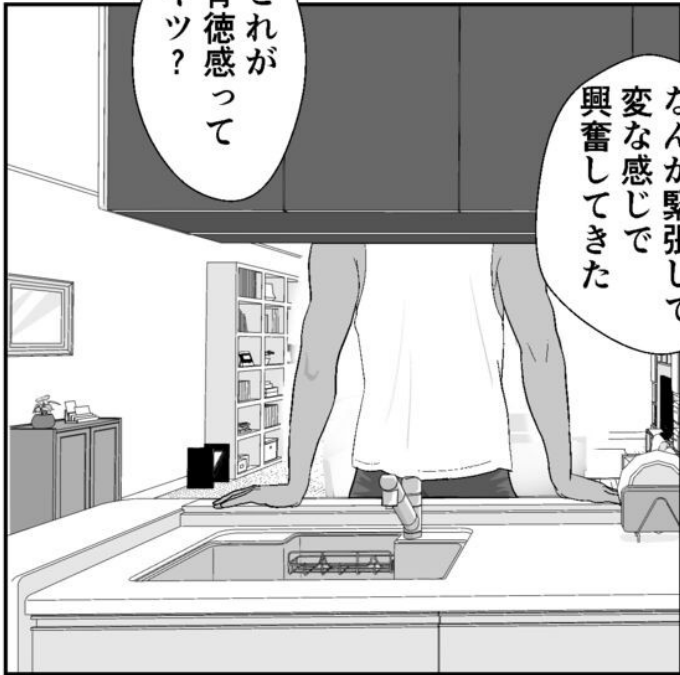
^^
早く来ないと
俺と父さんで
美味しい物
食べ尽くしちゃうよ

あら
それじゃ早く
追いつかないとね





約束は守って
もらうわよ

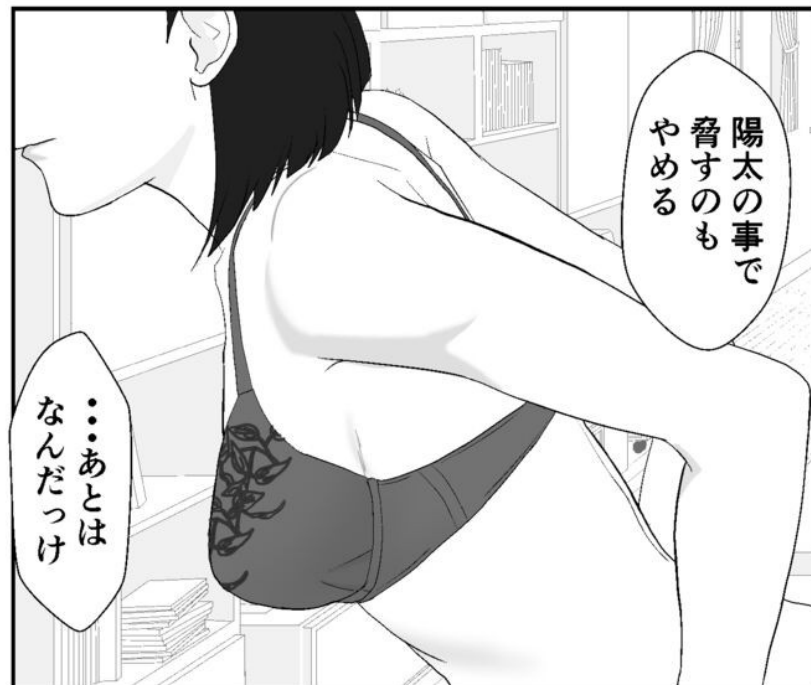


これが
背徳感って
ヤツ？

やっべ
なんか緊張して
変な感じで
興奮してきた



へー
ここが
陽太ん家か…



陽太の事で
脅すのも
やめる

…あとは
なんだっけ



わかってるって
今日限りで
この関係は
終わりに
すっからさ



……

ゴムは絶対に
外さないで



ごまかすんじや
ないわよ

あーそうだった
ゴム着必須な

おばさん
微妙な時期
なんだっけ？



今日が
本当に
最後だから

ん？

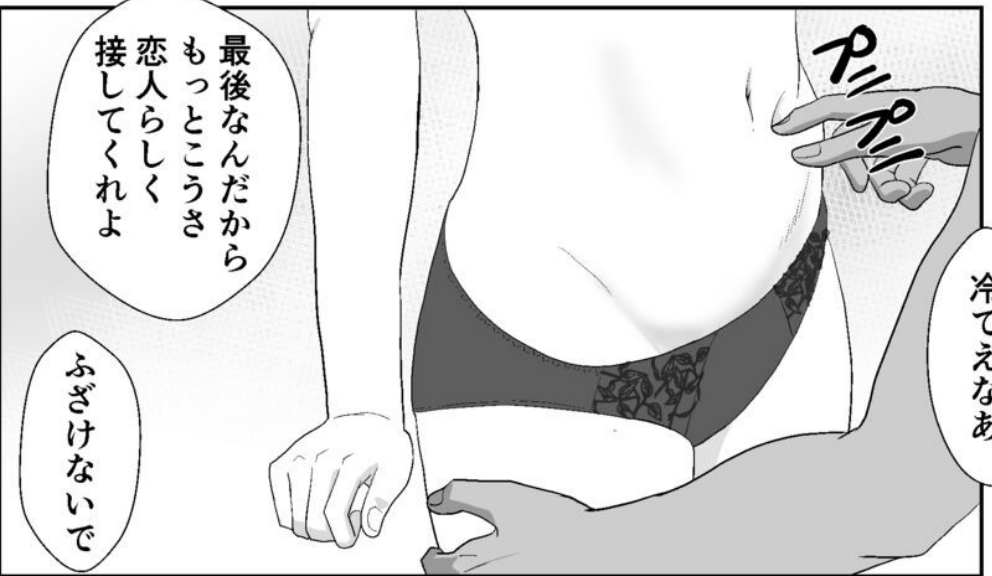
わかったら
さっさと
終わらせて頂戴



ッ!?

ふざけてねえ

ガタン



最後なんだから
もっとこうさ
恋人らしく
接してくれよ

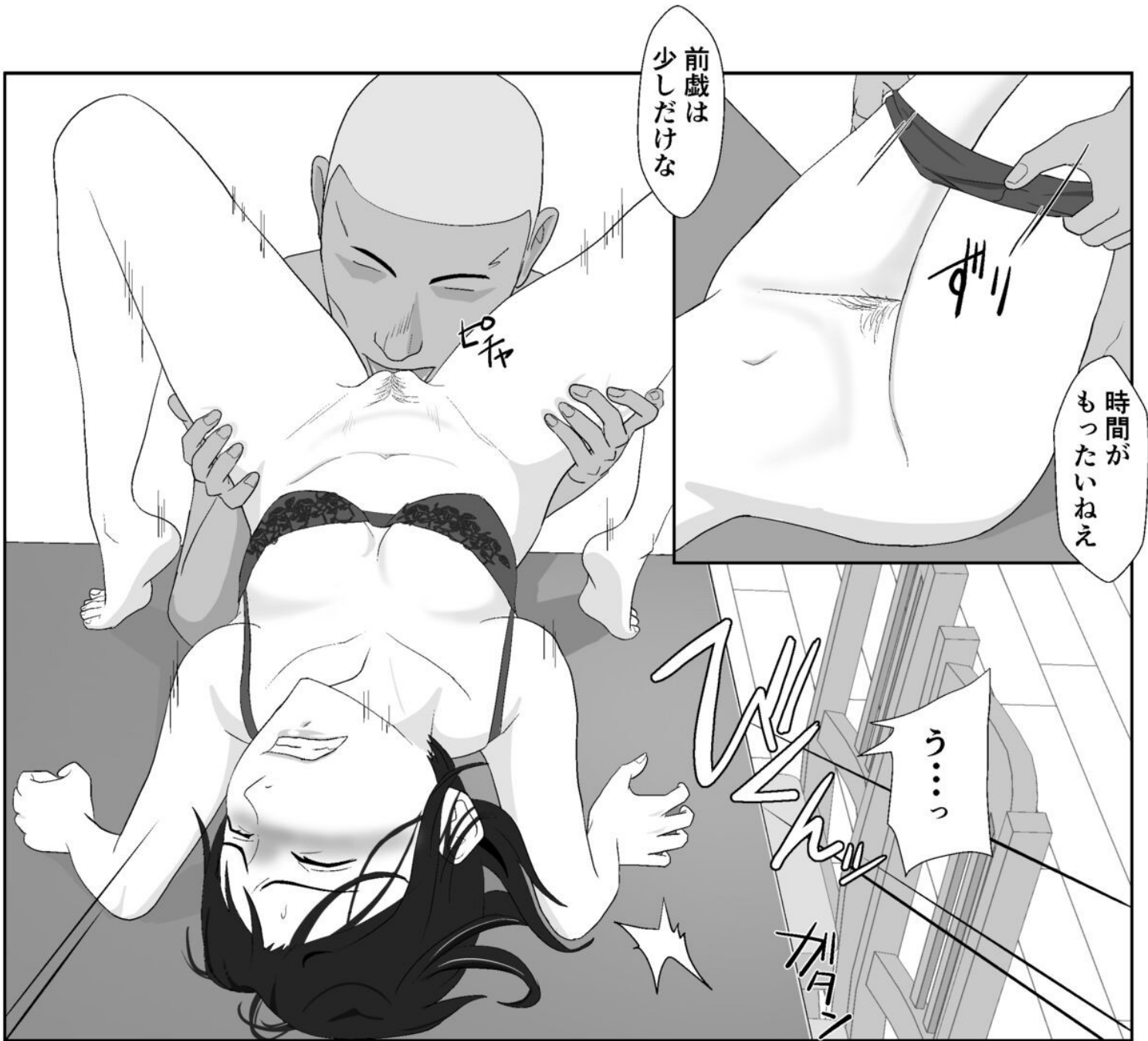
ふざけないで

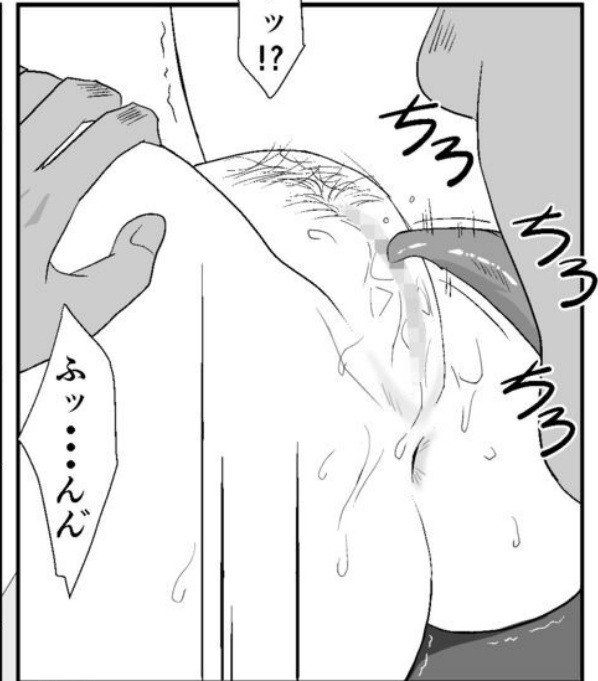
冷てえなあ

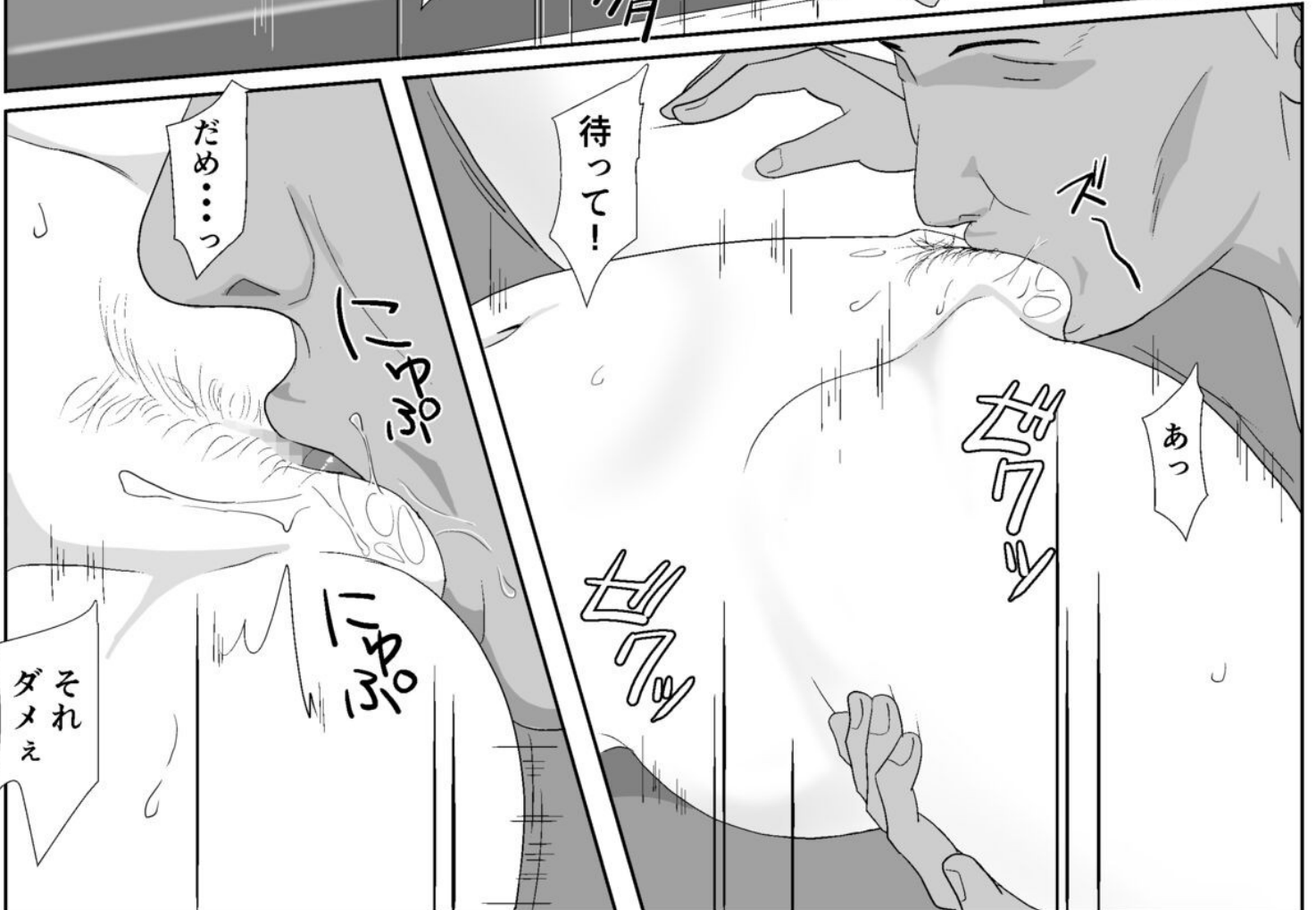
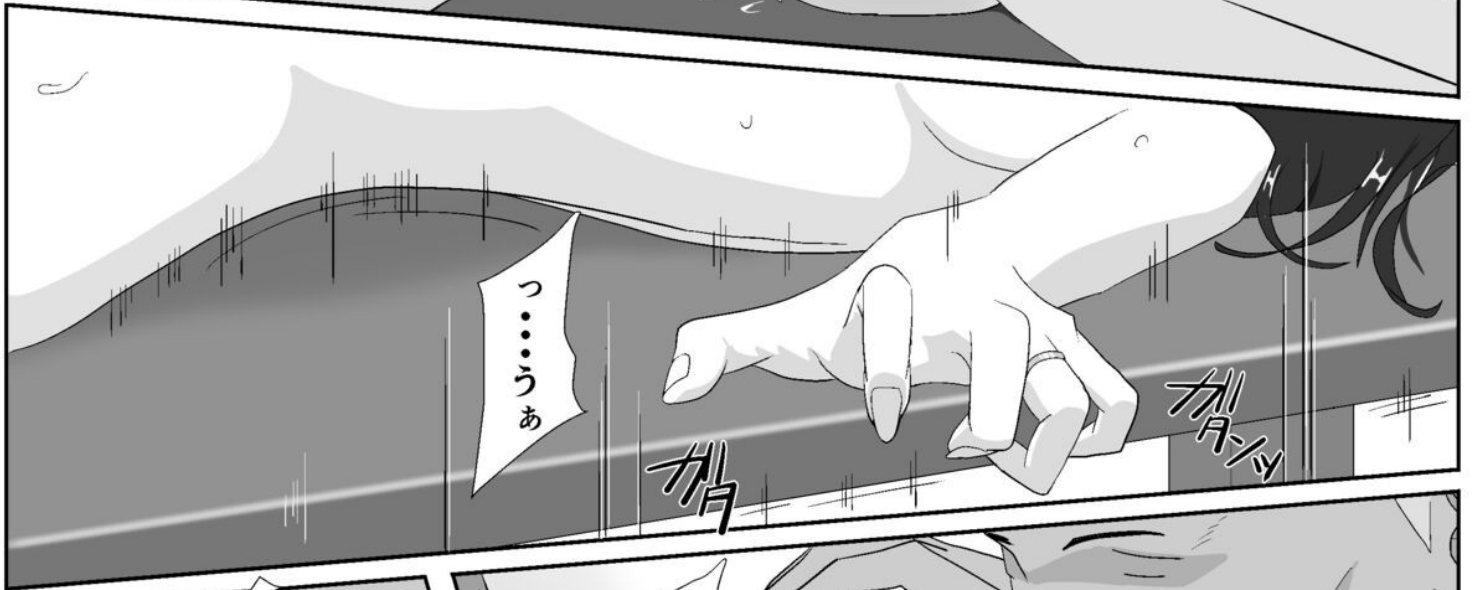
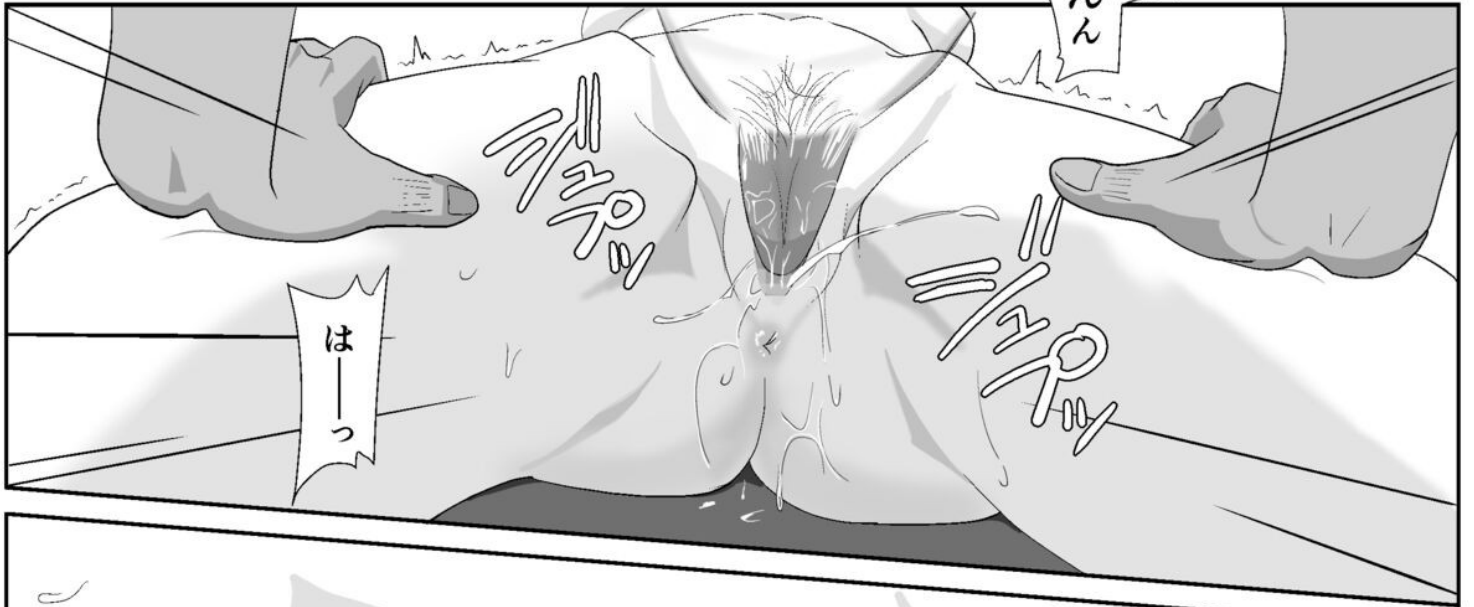


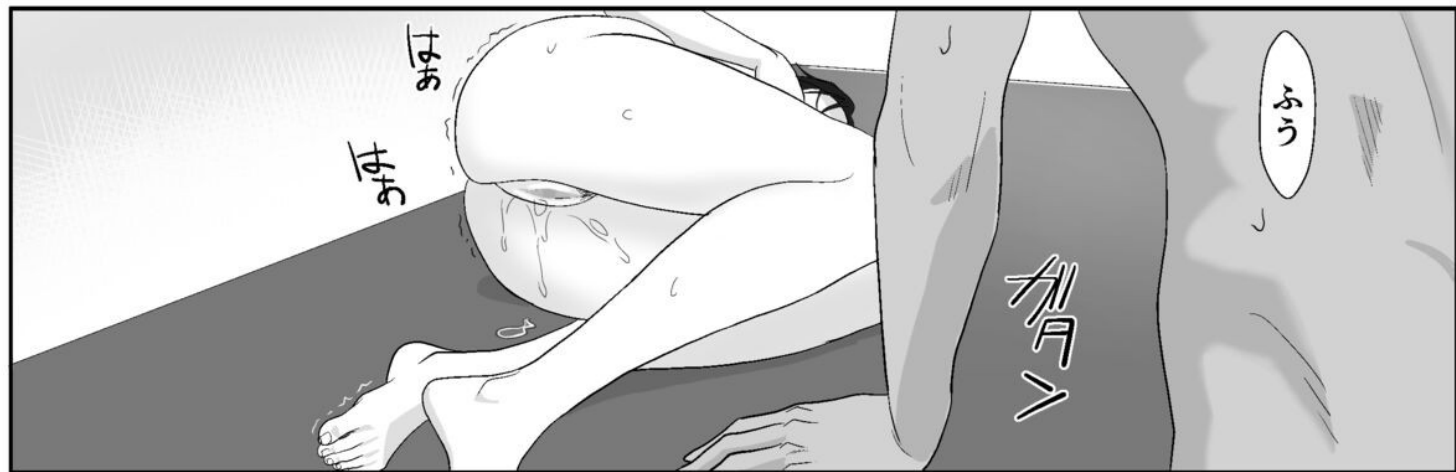
『恋人らしく』だ
できなかつたら
約束は無しだ

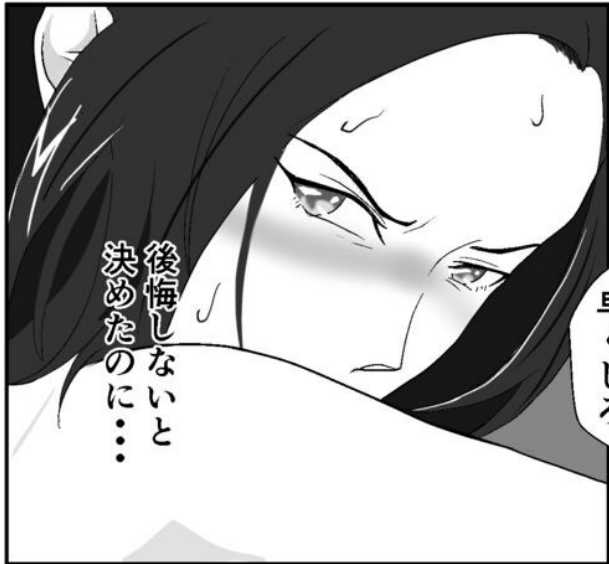
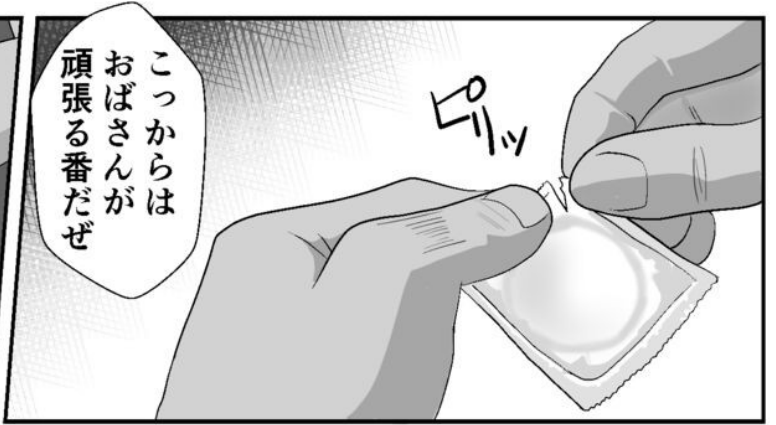
今更
何を——ッ



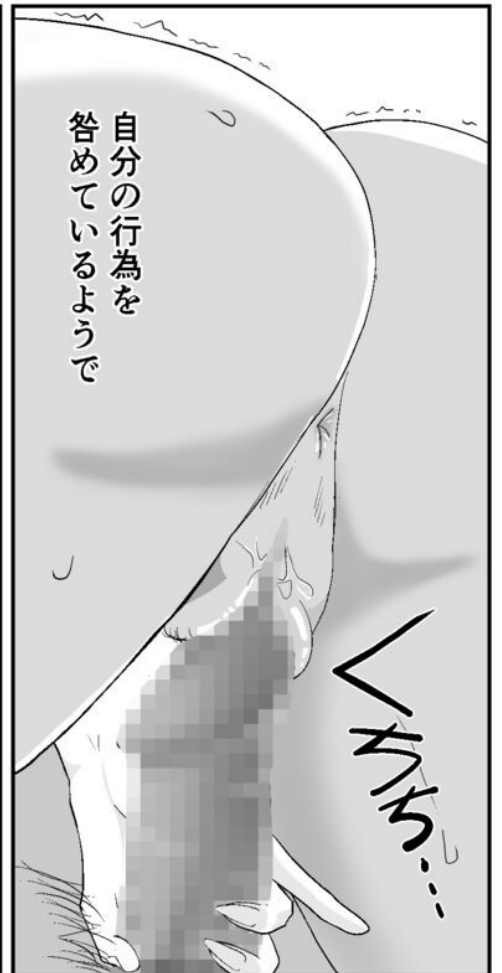


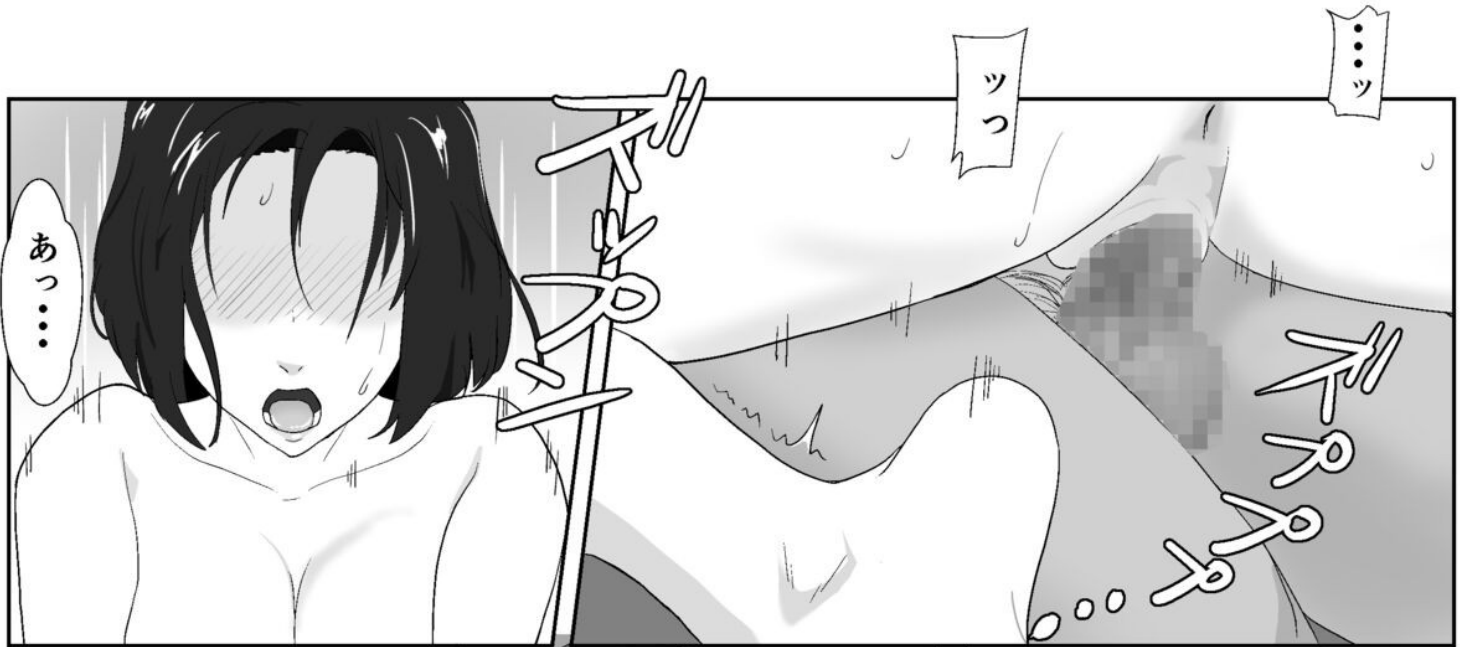






自宅という見慣れた空間が







!?
へえ
恋人っぽく
なって
きたじゃん

でもまだ足りねえ
もっとだ
もっと俺を求めろ



っ...!?

なんで声を
出してるの私...!?



そ、そうよ
これは演技よ

はあっ...

あっ

私はこのクズと
決別するために

うっん

役に
徹して
るだけ

やっ

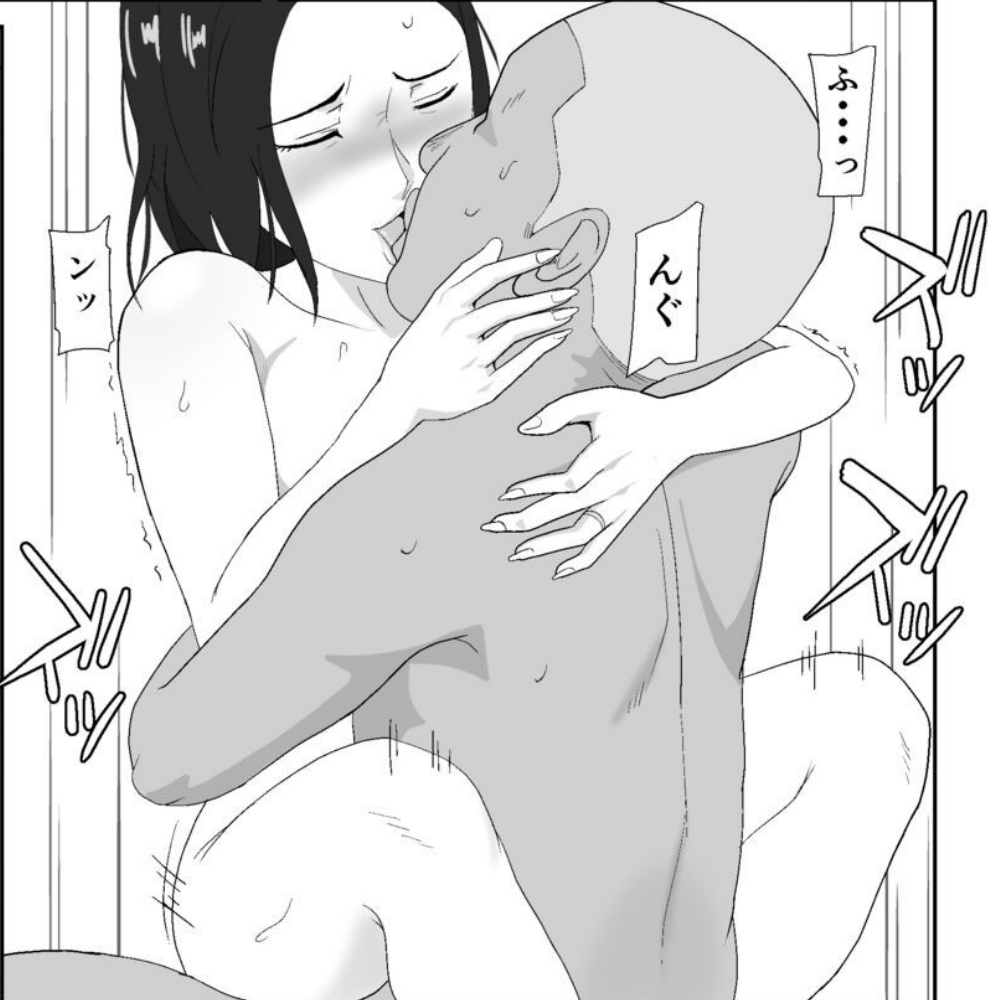
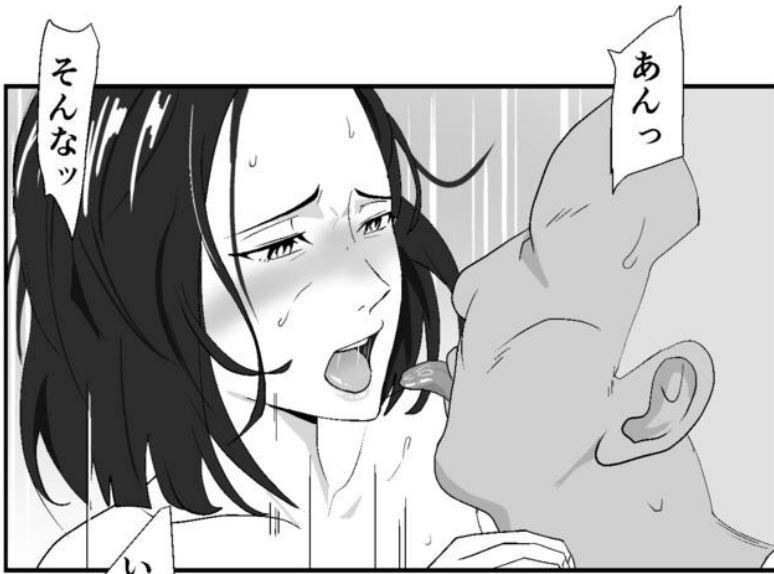


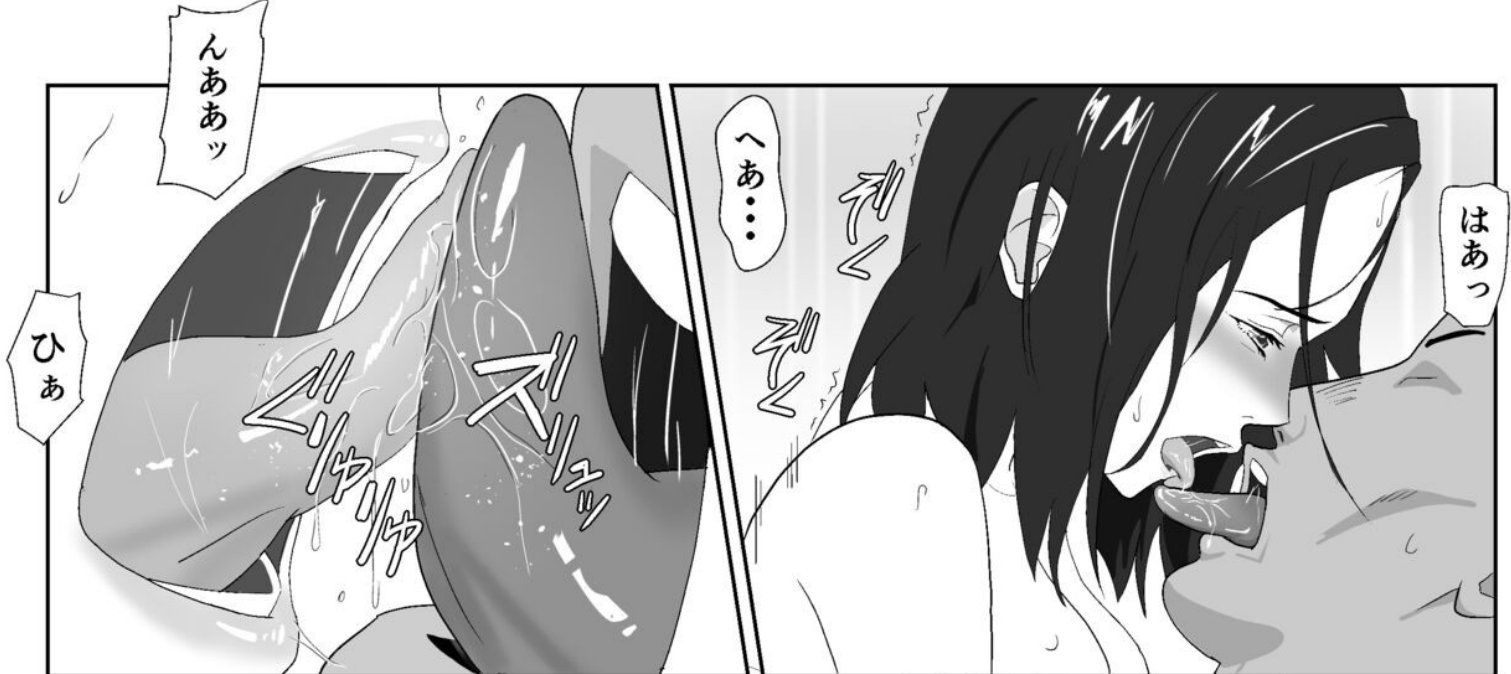
あッ

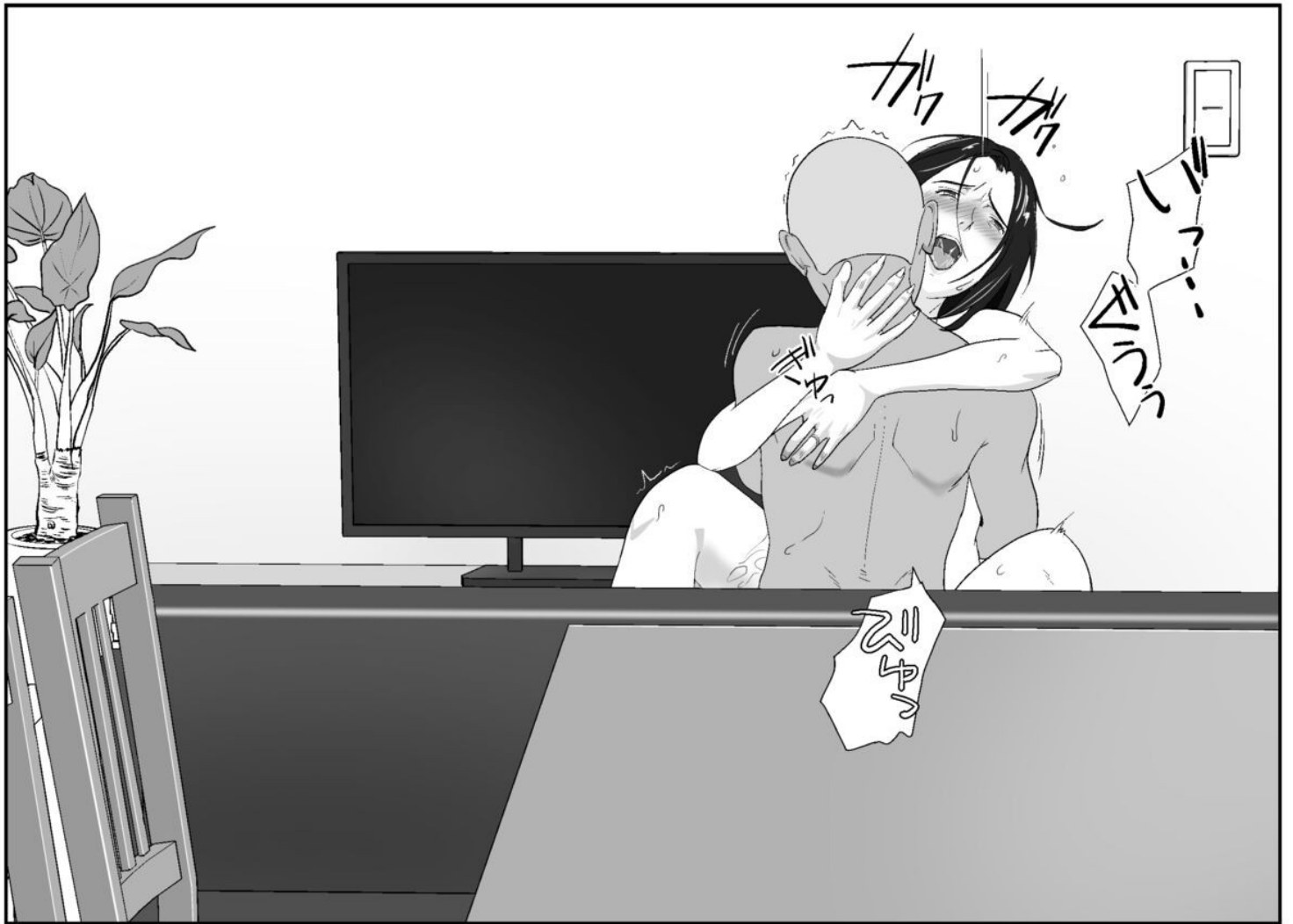
はん

ん...ッ

あゝあゝ







それでも私は
必死に
『これは演技』
なのだと
言い聞かせ
続けた

今日は
しこたま
やりまくって
やるからな

ハア

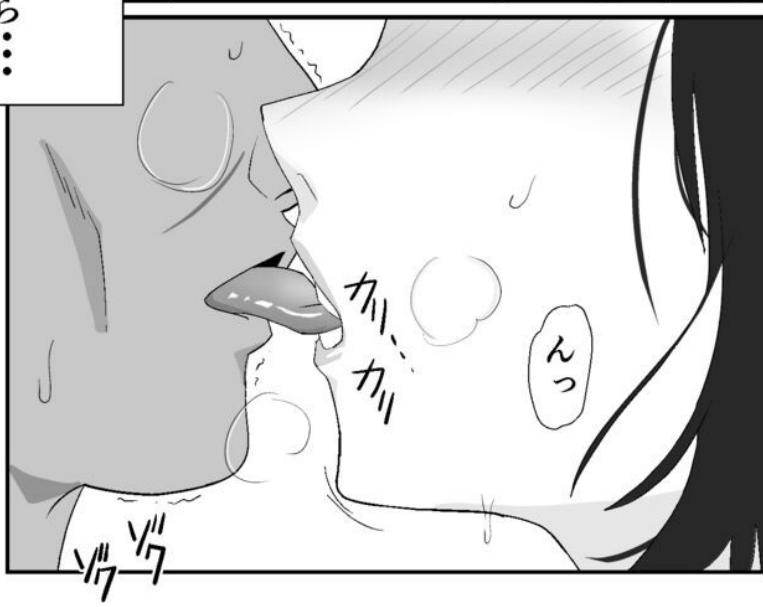
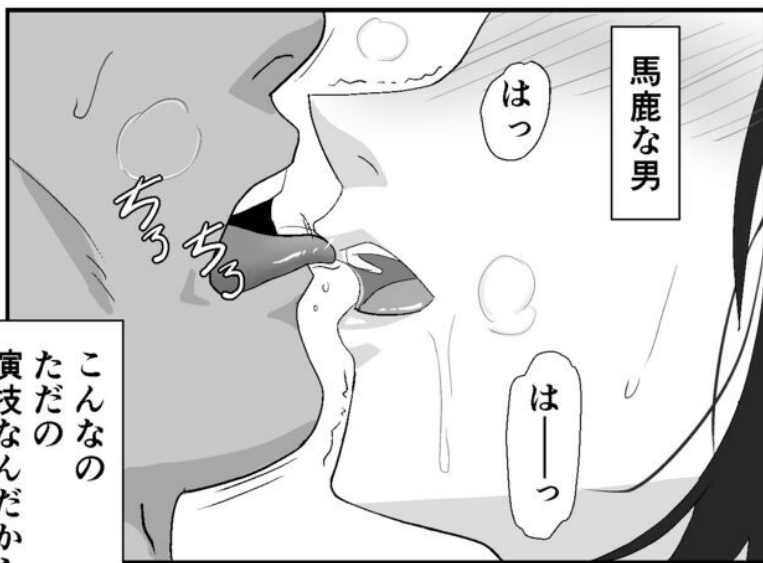
理性を
削いでいく

ハア

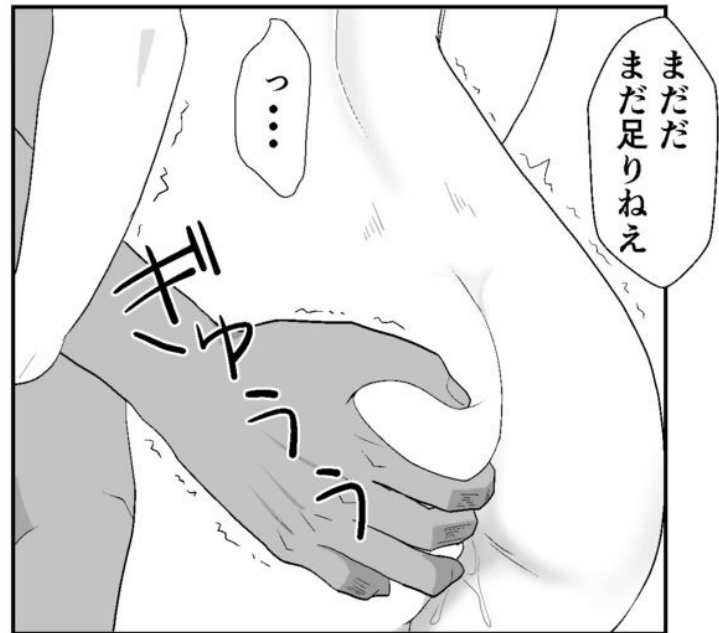
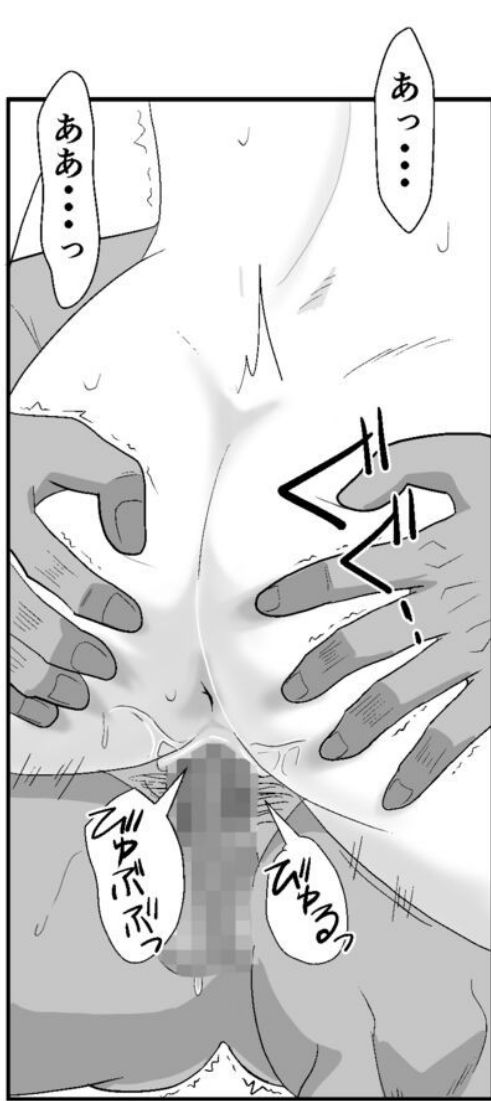
おらッ
呆けてんじゃ
ねえ

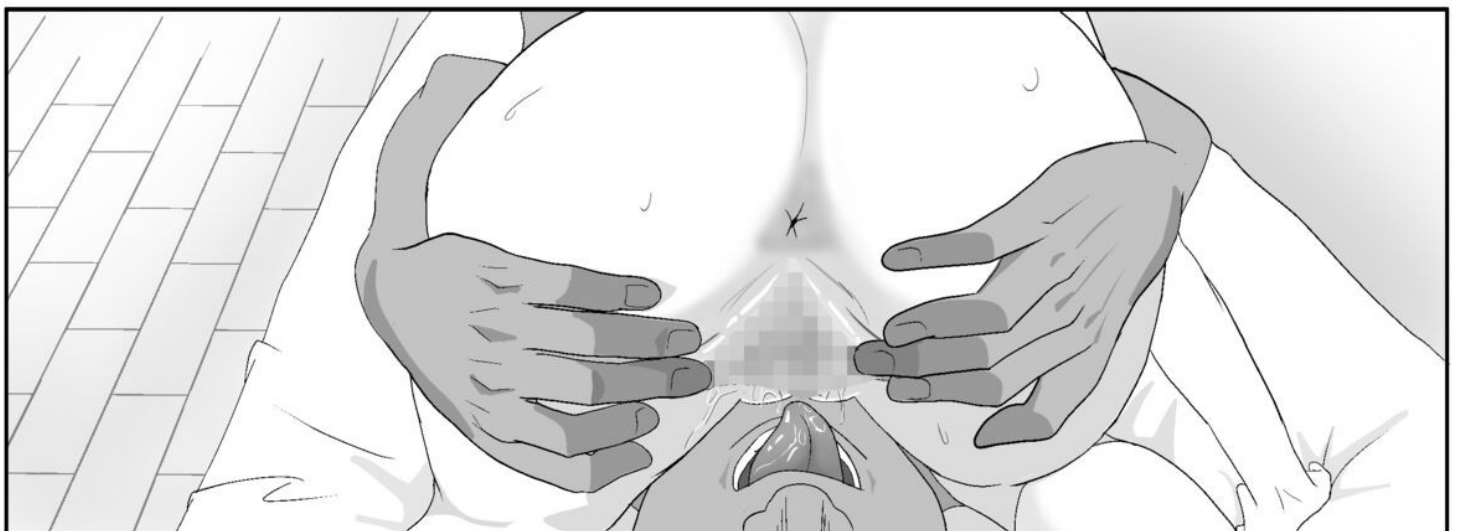
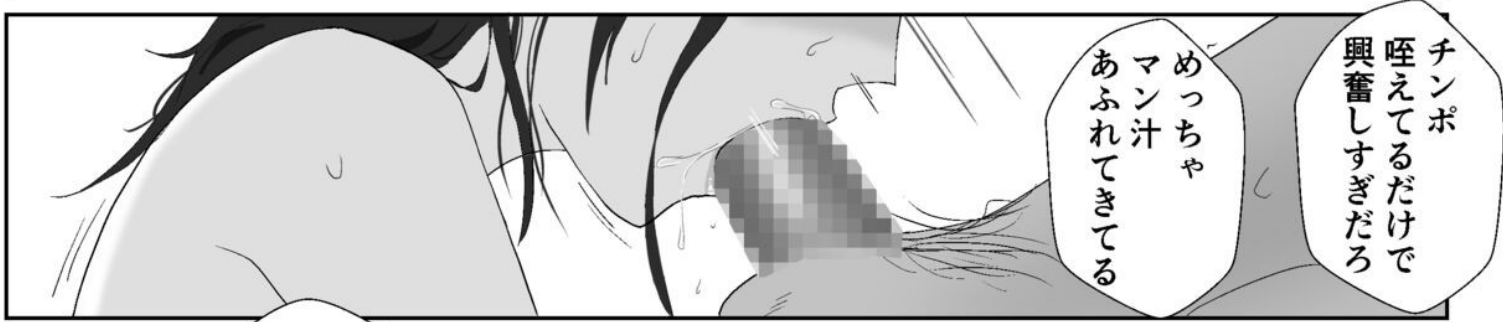
避妊具越しに
感じる灰田の
熱と脈動が

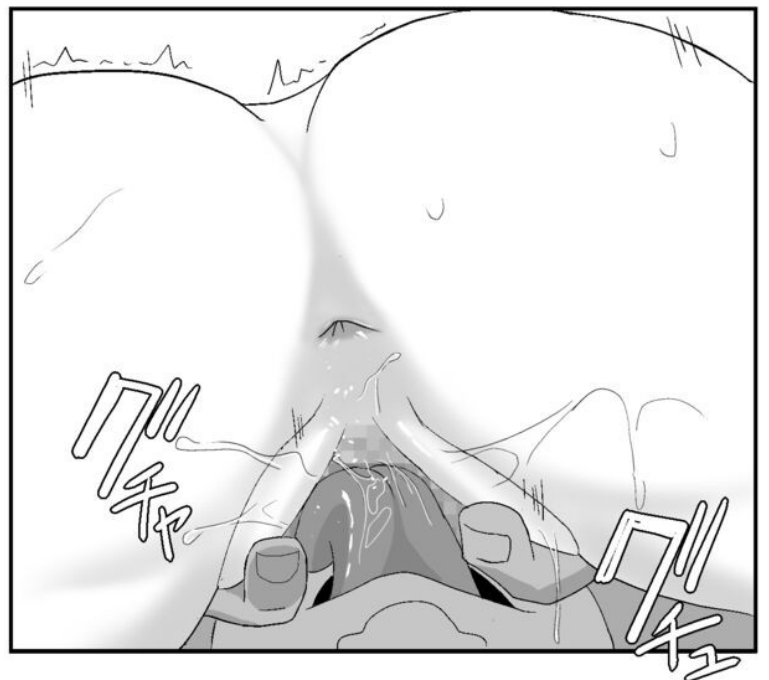
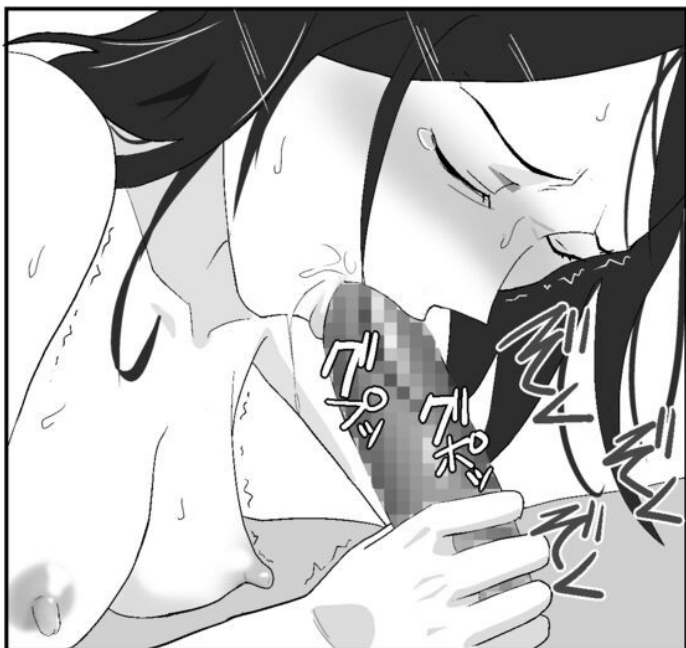
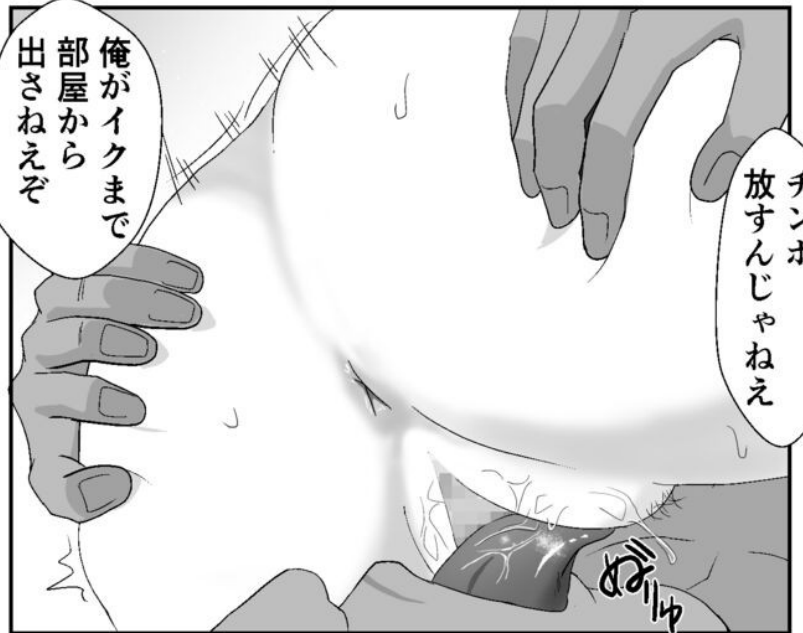
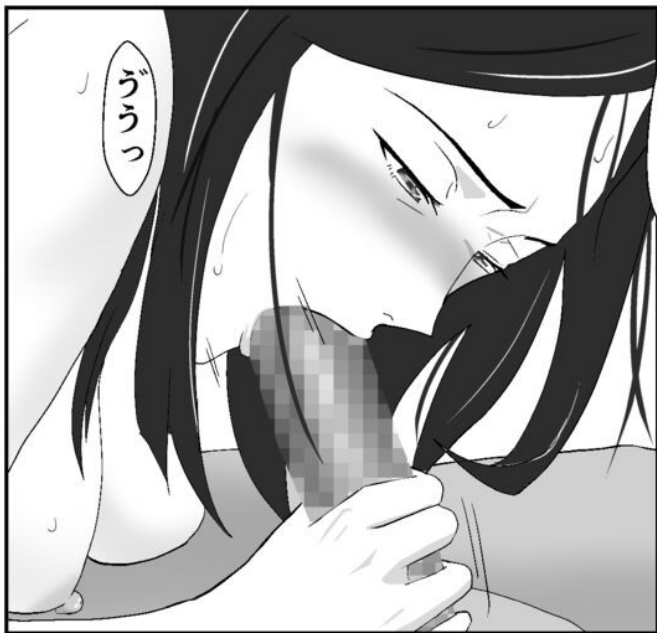
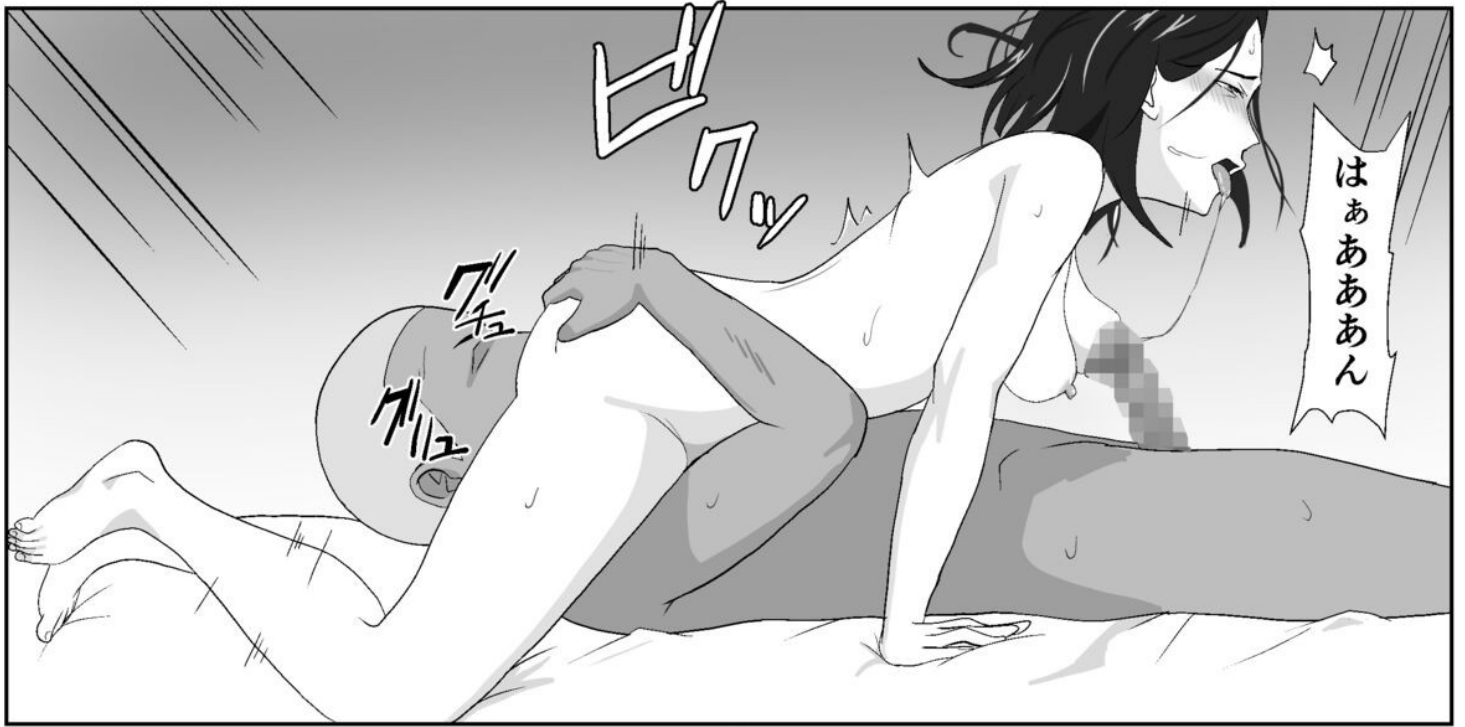
ハア

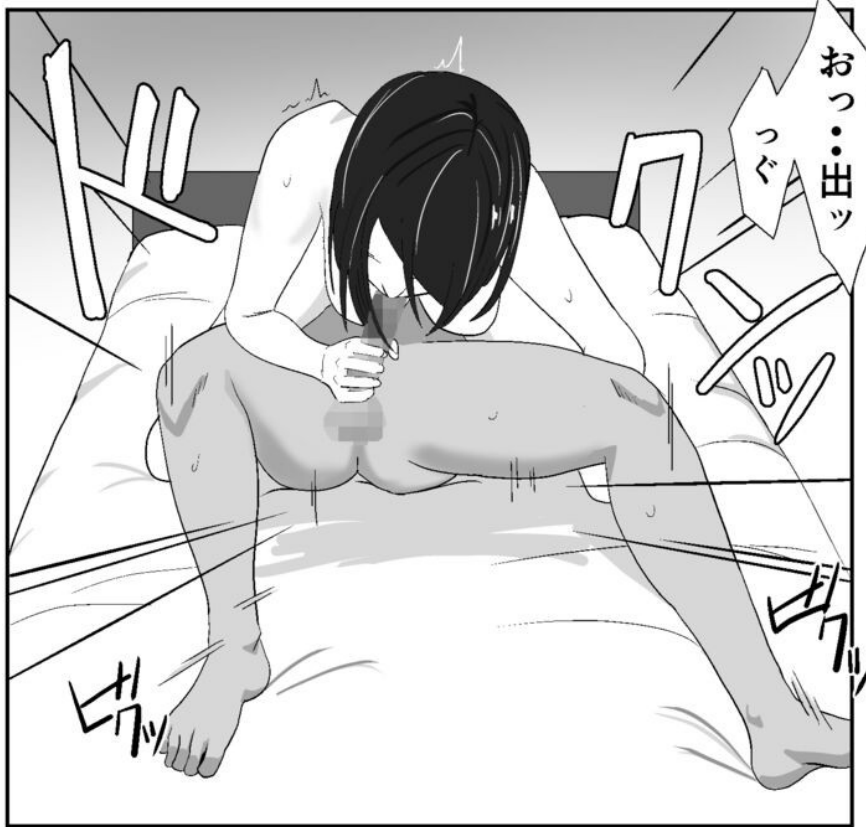


こんなのただの演技なんだから...









悪い悪い
お婆さんのが
良過ぎて
おもわず
出ちまった



けほっ

けほっ

けどよ...



口の精子は
飲み干せよ

でないと
続きを
してやんねえぞ



ツッ

まだ
物足りない
だろ？

いいのか？
なあ

やめ...て

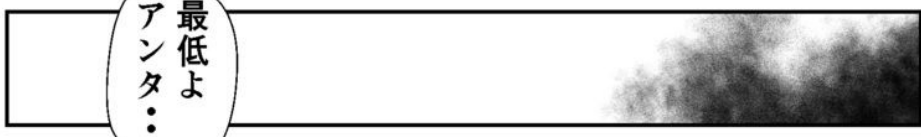
いや

自分の股
見てみるよ

今日のお婆さん
普段以上に
スイッチ入ってる
もんな



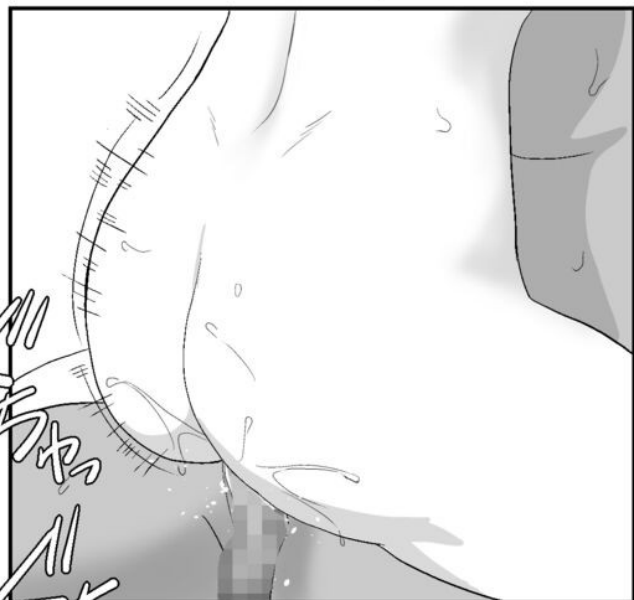
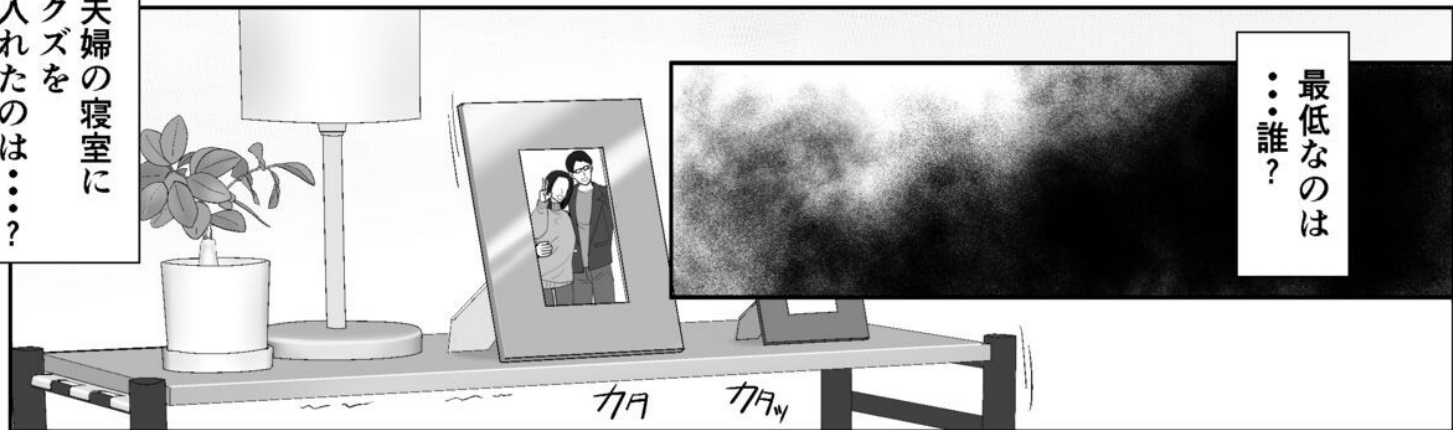
最低よ
アンタ...



...

夫婦の寝室に
クズを
入れたのは……？

最低なのは
……誰？





だめだめえ
もっと!

あっあん

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



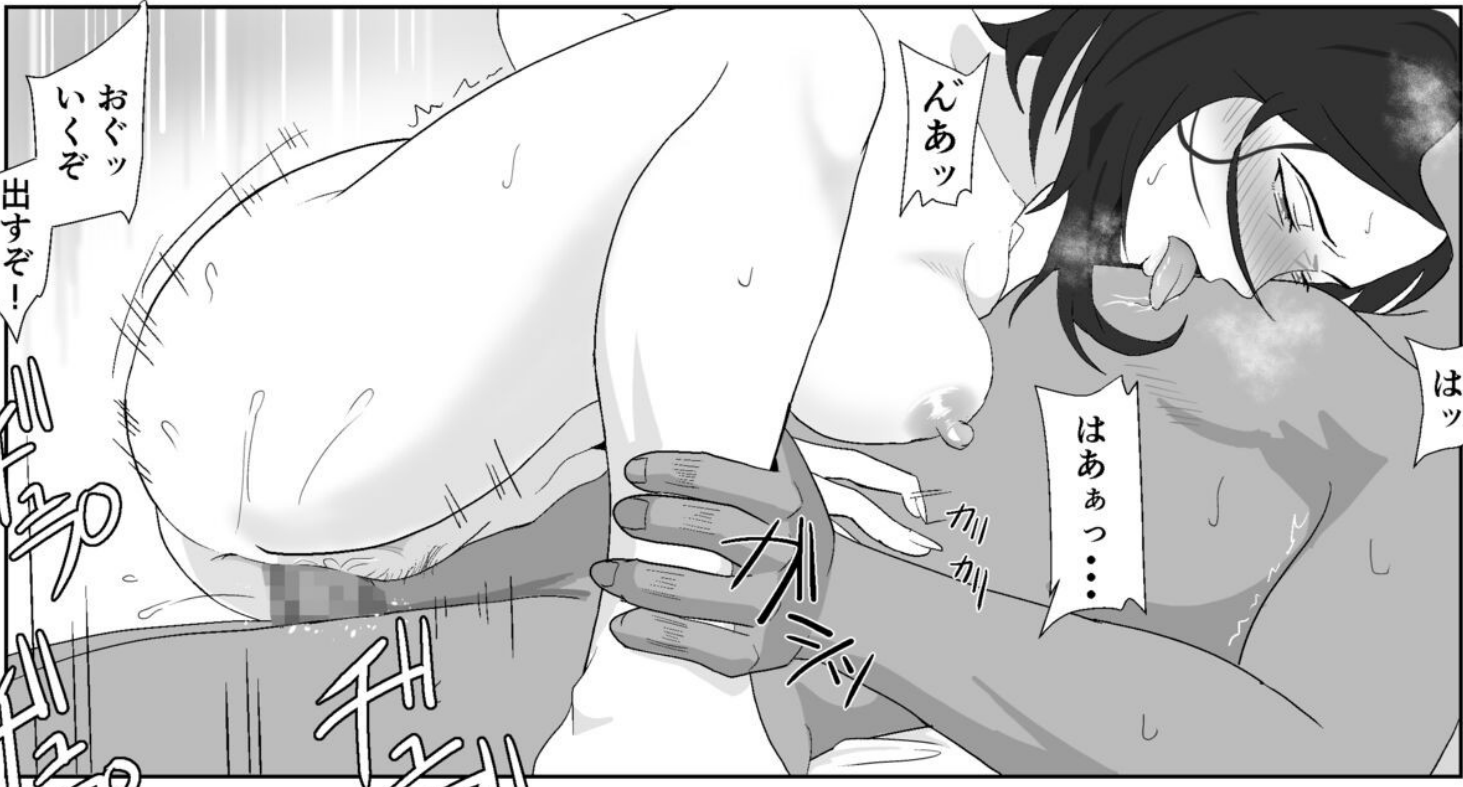
ああッ

そこ……ダメッ

あああッッ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



おぐッ
いくぞ

出すぞ!

んあッ

はああっ……

はッ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



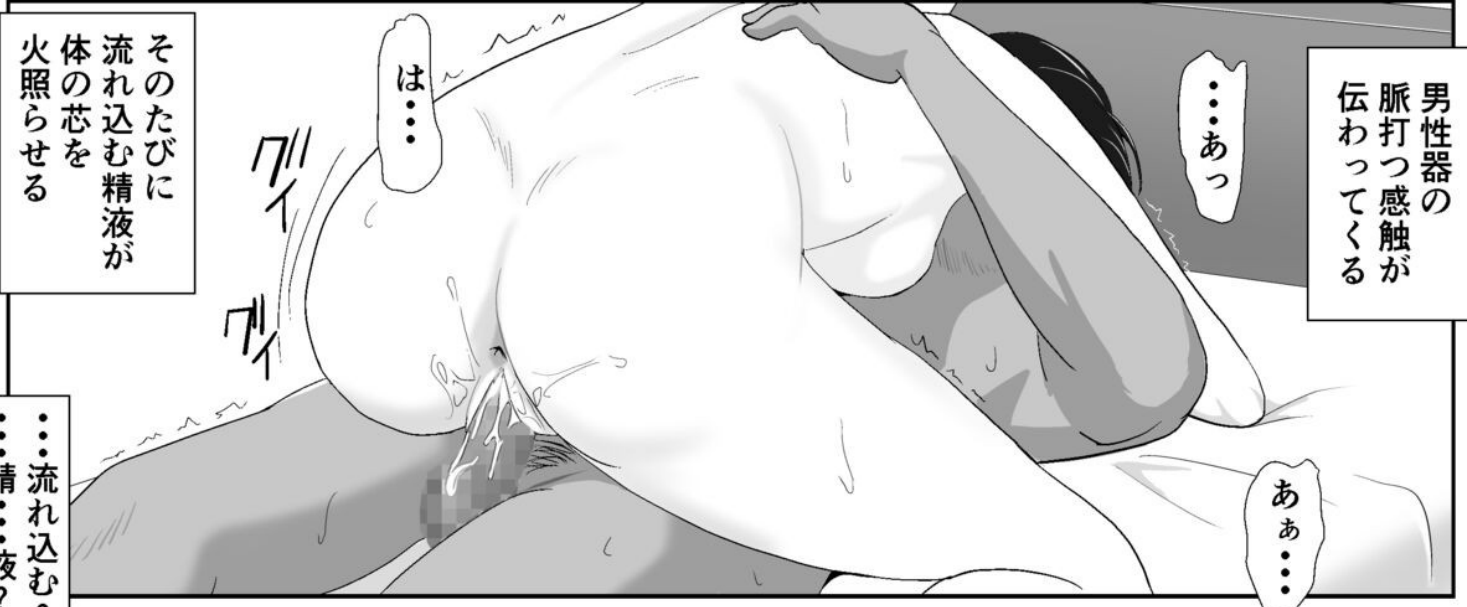
っはぁ……ん

あぁっ

グニッ



あぁ……
熱……い



男性器の
脈打つ感触が
伝わってくる

……あっ

は……

そのたびに
流れ込む精液が
体の芯を
火照らせる

あぁ……

……流れ込む？
……精……液？



嘘っ…

ちょっと待って!

どうして
中に出てるのよ!

ああ?
どうしても何も
ゴム無しで
突っ込んだからに
決まってるんだろ

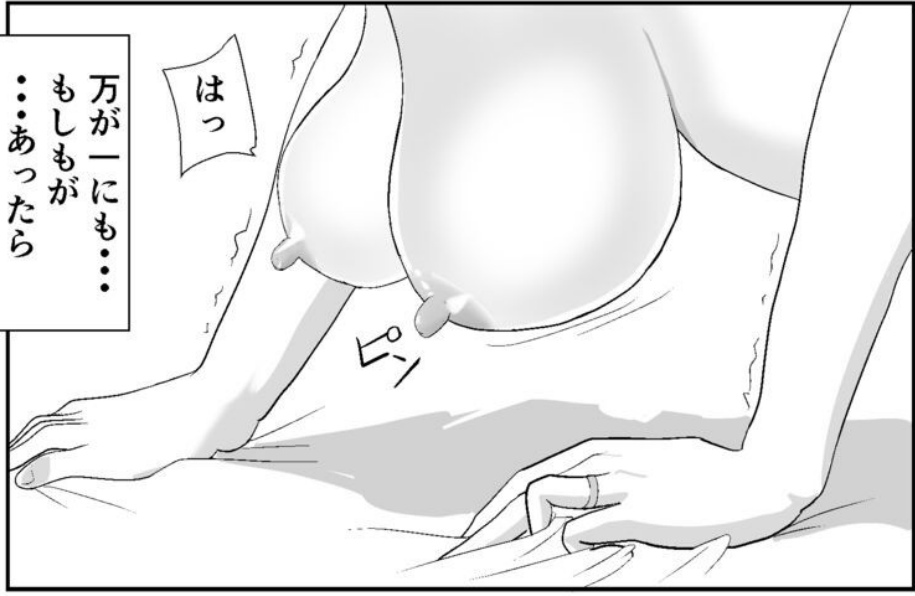
なッ…
いつの間に



ああ
こんな…

なんだよ
お婆さんが
悪いんだろ
スケベに
夢中にな
ってるから

悪ふざけじゃ
済まないのよ!



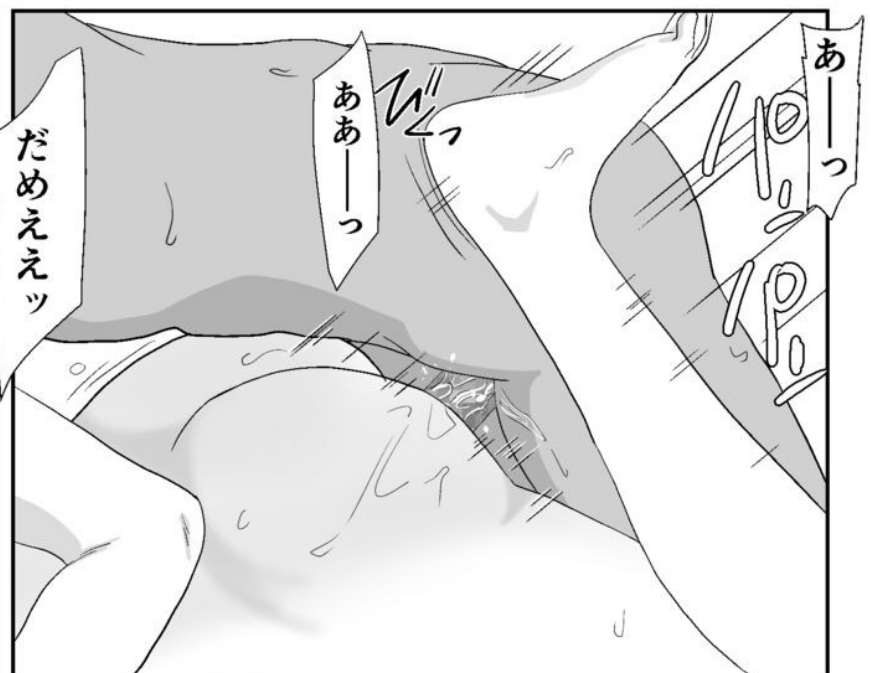
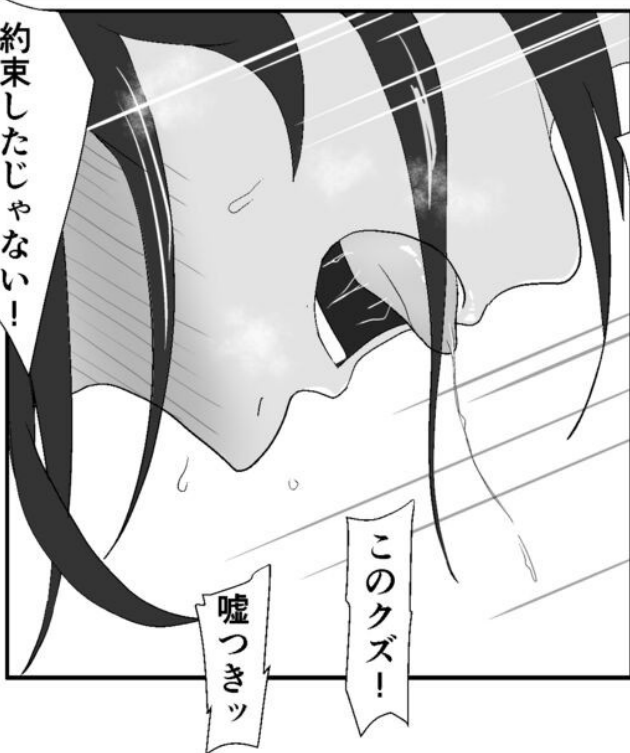
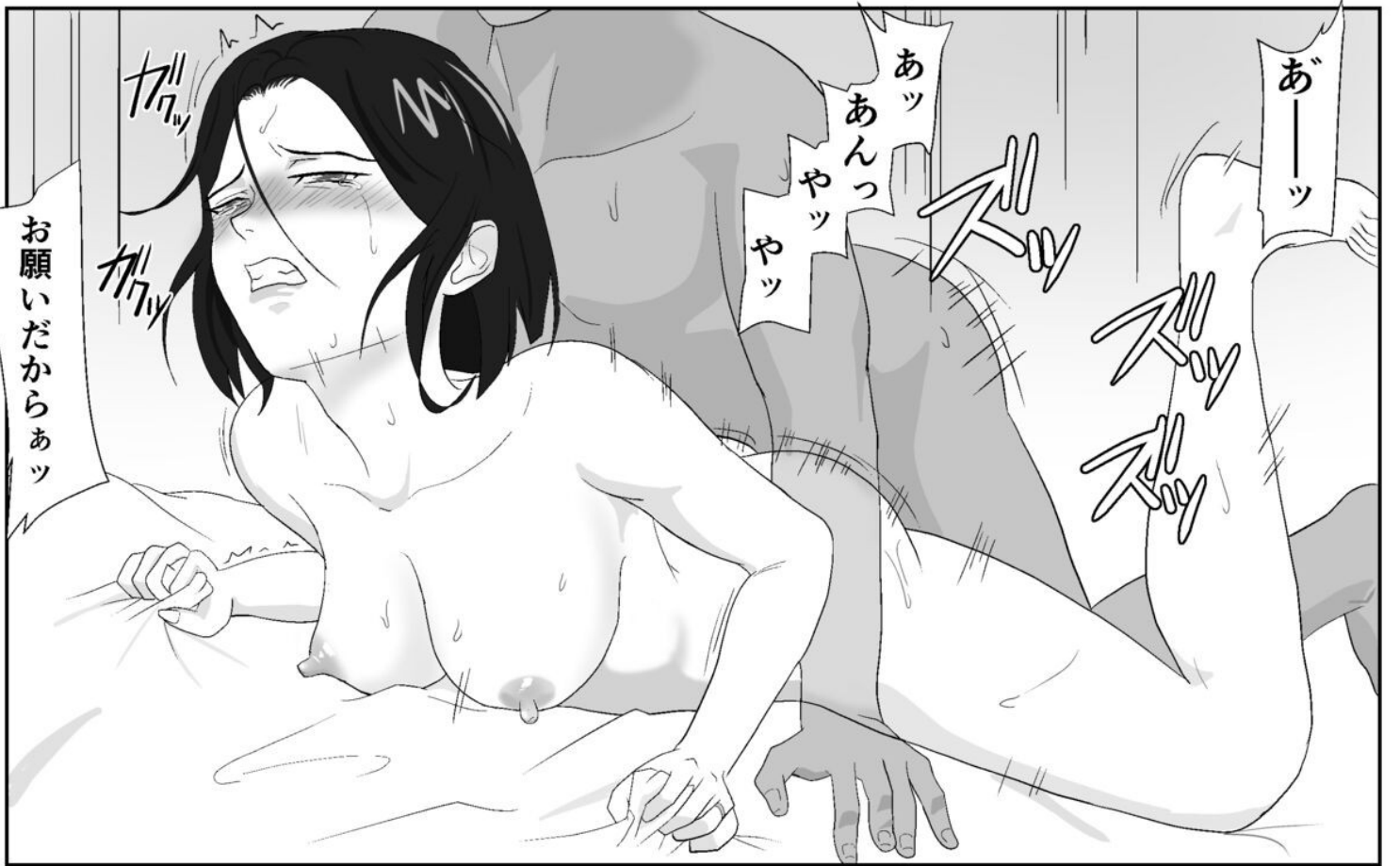
はっ

万が一にも…
もしもが
…あつたら



と、とにかく
すぐ洗わないと…





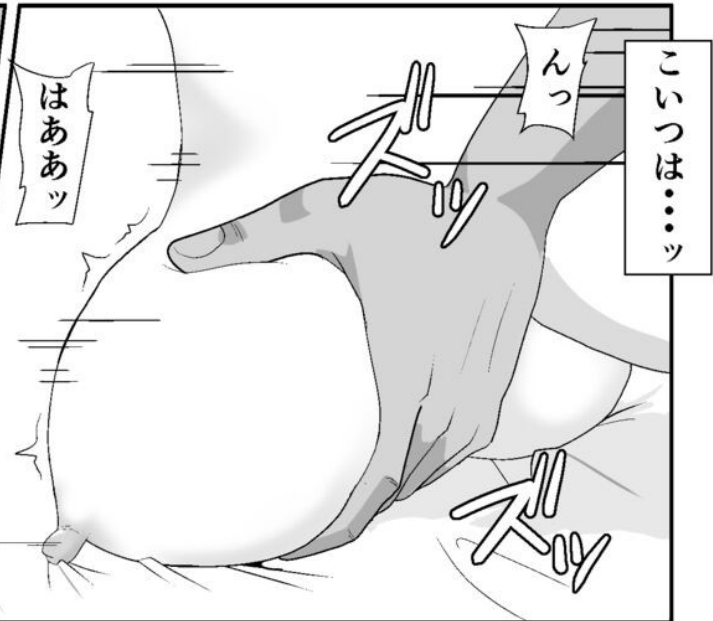


嘘よ

よ、陽太には
二度と
ちよつかい
ださねえ
それだけは
約束してやる



いつも
こうやって
約束を破る



こいつは……ッ

はああッ



ああ
これこれ
この動き

やっぱ
おばさんの
マンユ
最高だわ

うあッ

はあッ

だから……

ンぐう

興奮すつと
ウネウネ締めて
チンポ
ねだつてくんによ



このクズの意識を私に向けてさえおけば

んっ

はあっ



だからこそ...

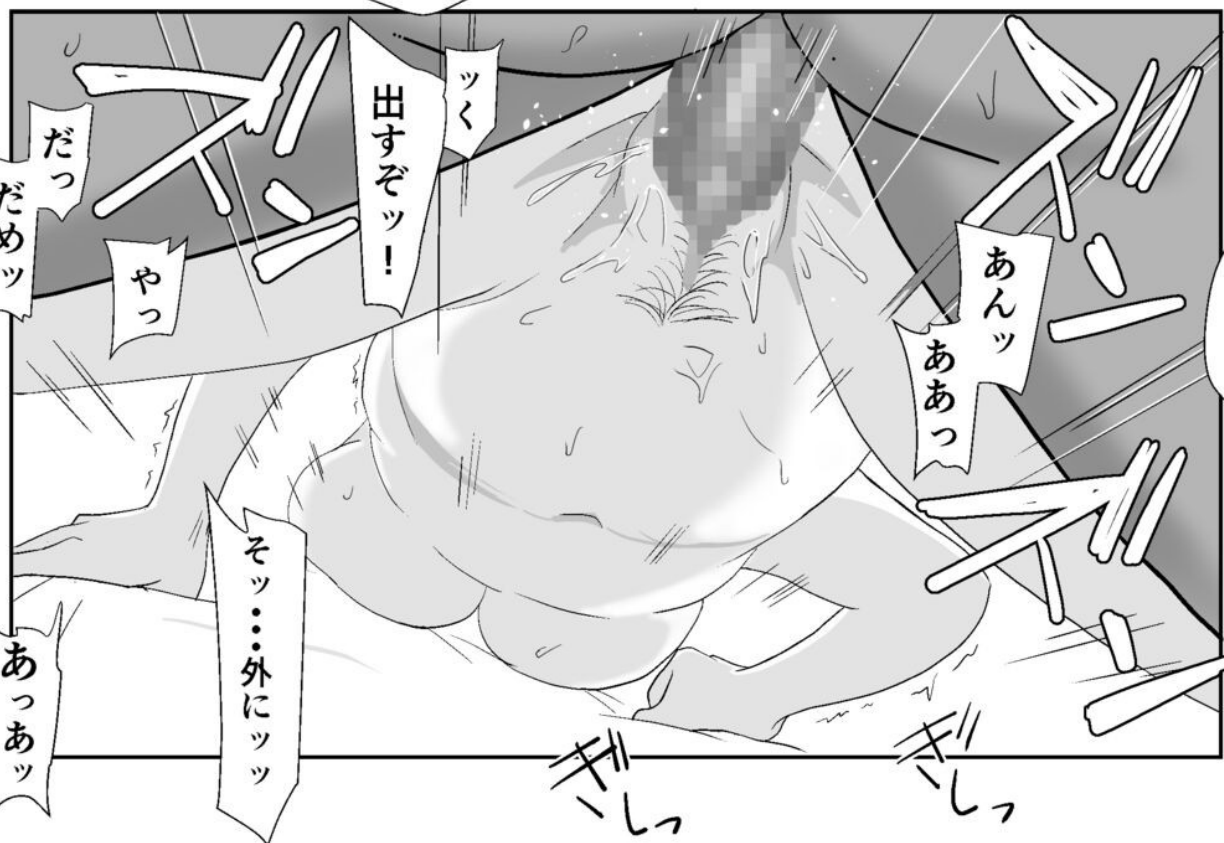
おっ!!

ハッ



やべ不意にされる恋人キス

私が犠牲にならなきゃ



チンコにかなり響くわ

俺マジでおばさんに惚れそう

確実に息子を家族を守るから

そっ...外にッ

あっあッ

ハッ

ハッ



自分から尻押し付けといて何言ってやがるこのエロババア

はあッ

ぎちゃう!
またぎちゃう!!

ハッ

いっ

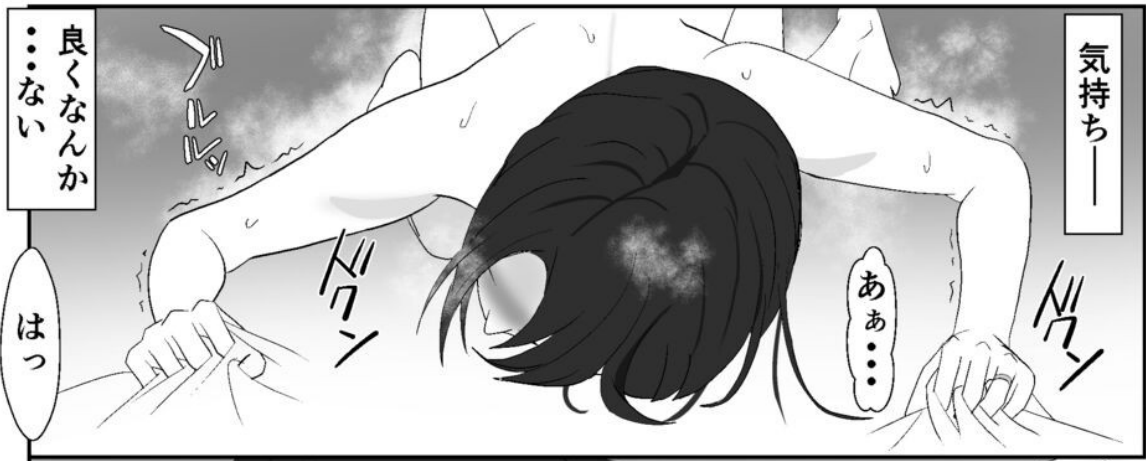
イツクウ

はっ

んんんッ

いやッ

いやッ



良くなんか...ない

はっ

気持ちー

ああ...



あッ



あ...熱い...

家族の為
なんだから...あ

はあ

全部...

全部...

はあ

はあ

今回は自分の好きなシチュエーションを
入れ過ぎて想定よりかなりボリュームが
増えてしまいました

『堕ちてるのに頑なに認めないエロ熟女』

このヒロインは気に入っているので
想像力が膨らむのですよね

そのせいか最近ハマりすぎてマドンナのエロ動画を
頻りに購入するくらいプライベートも
引っ張られてます

ずいぶん寒くなりました。
皆様も体調にはお気をつけください

最後になりましたが
お買い上げありがとうございました

また次作でお会いしましょう

紀山ハル